

ザ・パイロット

喜怒哀楽の四つの段よりなる抒情の劇

宮本
研

序の段

これより出撃の途につく者たちの航路と帰路が、主の守りによりて安全ならんことを祈ります。
われら、つねに主の加護を知り、ひたぶるに主を信じて前進します。
イエス・キリストの御名により、エーメン。

——従軍牧師の祝福・八月六日・テニアン

法廷です。

星条旗です。

ある事件が審理されているのです。

陪審員席からドツという笑い声。証言台のオコンネル夫人が何をいったのでしょうか。まるでミュージック・ホ

ールみたいな騒ぎです。

判事が槌を鳴らします。

判事

淑女ならびに紳士諸君。……与えられた権限によって注意を喚起いたしたのでありますが、陪審員諸君の眼前において現在おこなわれているのは、名誉ある一市民を有罪にするかしないかの神聖にして厳肅なる裁判でありまして……よろしいかな……滑稽にして愉快なるボードビルでは決してないということでもあります。これがたぶん、五回目の警告であります。神のお恵みがありますように。……検察官、証人 Mrs. O'Connell に対する訊問を続行してください。むろん、できるだけ簡単に。

検事 Mrs. O'Connell ……

オコンネル夫人 Yes.

検事

それで、そのあと、犯人はあなたの脇腹に拳銃をつきつけ、（いうことを聞かねえとぶっぱなしちまうぞ）……裁判長ならびに陪審員諸君、厳肅なる法廷において厳肅ならざる国語を使用することをお許し下さい……と

威嚇したわけですね。

オコンネル夫人 そうです。そして、こう申しました。……へどつ腹に風穴をあけてもらいてえのか、この阿魔。

検事 つまり、拳銃を発射することにより、弾丸があなたの腹部を貫通して、その反対側に出てもよろしいかと、そういったのですね。

オコンネル夫人 Yes.

笑い声。槌です。

検事 で、あなたはその時……たぶんそうに違いないわけですが……恐怖心、すなわち、もし犯人の命令に従わざれば生命の危険にさらされるやもしれぬ、という恐怖の感情に襲われたのですね。

オコンネル夫人 肝っ玉がでんぐりがえったかとおっしゃるんですか。

検事 裁判長ならびに陪審員諸君、卑俗な国語の使用をお許し下さい。……That's right, Mrs. O'Connell.

オコンネル夫人 ま、でんぐりがえるというほどじゃなかったでございませうね、検事さん。

検事 というと。

オコンネル夫人 犯人は、そのあと、わたしが出した金庫には眼もくれずに、こう申したんでございます。……わたしは強盗です。……お手数ながら、警察をよんでくださいますか、Mrs. O'Connell.

笑いときわめき。槌。

検事 あなたは、その時の犯人の顔をいまなお記憶しておいでですか。Mrs. O'Connell.

オコンネル夫人 Yes.

検事 では、その犯人と同一の人物がもしこの法廷にいるなら、指摘できますね。

オコンネル夫人 もちろん。

検事 指摘してください。

夫人、リビングストーンを指さします。

陪審員席のざわめきです。

検事 訊問をおわります。

検事、着席します。

判事 弁護人、反対訊問は。

弁護人 ありません。裁判長。

判事 Mrs. O'Connell. . . . アメリカ合衆国ならびにテキサス州の市民として、その義務をみごとに果たされたあなたと、あなたによつて経営されるローンスター・ベーカーリーに神のお恵みがありますように。

夫人、陪審員たちの拍手に迎えられて証人席をおります。槌が鳴ります。

判事 さて、淑女ならびに紳士諸君。 . . . わがテキサス州人民対クリストファ・リビングストンの強盗未遂事件の審理もいよいよ最終の段階を迎えるに至りました。 . . . と申しますのは、このあと引きつづいて行われる予定でありますところの、人民側および弁護側の最終論告ならびに最終弁論が終了したあと、ただちに被告クリストファ・リビングストンに対する有罪か無罪かの決定が陪審員諸君、すなわち、みなさんの手によつて下されるからであります。 . . . 淑女ならびに紳士諸君。 . . . ここであらためて諸君の注意を喚起したいのであります。 . . . 諸君は、アメリカ合衆国ならびに合衆国におけるもつとも古い伝統ともつとも広い面積をもつわがテキサス州の市民として、榮譽ある当法廷の陪審員席に着席しておられるという事実であります。 . . . 申し上げるまでもなく、被告クリストファ・リビングストンは、三つの点においてわが地域社会に名声を博しておる人物であります。一つは、第二次大戦における特殊な勲功により名誉勲章を授けられた当市の英雄であること。二つは、にもかかわらず、被告は前後七回にわたる強盗事件を惹起していること。三つは、それら七回にわたる犯罪のすべてについて、法廷においてつねに、みずから、無罪をではなく有罪を主張していることであります。 . . . これらの事實は、本件が特殊に複雑なケースであること、および、したがつて特殊に困難な判断を陪審員諸君に要求していることを物語っております。 . . . 陪審員諸君。本件の有罪ないし無罪を評決するにあつて、アメリカ合衆国ならびにテキサス州の正義と良心を十二分に示されるよう期待します。神のお恵みが当法廷と諸君の上にありますように。 . . . 説示をおわります。 . . . 検察官、最終論告にはいるように。

静まりかえった法廷です。

どこからかハミングのような旋律が聞えてきます。星条旗をのこして法廷が暗くなります。と、十二人の男と女が正面にむかつてならびます。陪審員たちです。歌をうたっているのです。こうです。

旅順開城約成りて

敵の將軍ステッセル

乃木大将と会見の

所はいずこ水師營

庭に一本棗の木

弾丸あともいちじるく

くずれ残れる民屋に

今ぞ相見る二將軍

1 喜の段

家野よのはよかよか昔からよかよ

サンタ・カララで日を暮らす

——ぼんおどりうた・浦上

海の見える、なだらかな山の斜面。こんもり茂った楠の大木が一本。そのむこうに竹林。

さやさやと風に鳴る笹の葉すれが聞えてくるような、明るい、のどかな、夏のひろさがり。

どこかで蟬がなっています。

墓地です。

だから、いろんな墓があります。長崎だからでしょうか。十字架のついた白い西洋墓も見えます。何本かの向日葵と真赤な葉鶏頭がいまを盛りと咲いています。そして、それらが斜面にそつてうまく按配され、よくできた芝居の舞台装置を見るようです。

青い空がのぞいています。

旋律がながれてきます。口笛です。

ある晴れた日に

遠い海のかなたに煙立ち

やがて見ゆる白い船……

一人の青年が登場します。口笛の主です。

青年は仔細ありげにあたりを見廻わし、ここが目的地であることを確認したらしい表情になると、汗のにじんだシャツや帽子を脱いで木の枝にかけます。そして、海のほうをむいて大きな深呼吸などします。なんとなくすべてが大げさな感じですが。

青年 ……Peaceful harbor, peaceful town and peaceful sky!

青年のうしろを、水の入ったポリエチレンのバケツを両手にさげた少女が通ります。美しい少女です。少女は石段を上って墓地の上にある家——書きおくれましたが、この墓地には二つの建物があるのです。一つは、楠の木の上ばに木片をたたきつけたモザイクのような小屋。もう一つは、兵隊色のアメリカ製カマボコ兵舎——その円い屋根の家にその少女ははいつて行きます。

それに気づいた青年、あわててメモと鉛筆をつかみ、あとを追います。と、いきなり、墓のかげからぬうつと中年の男です。

青年 ひ……ひええ。

青年、一瞬棒立ち。でも、気を取り直します。

青年 ……十善寺さんじゃありませんか。本署の。……おどかさないで下さいよ。

十善寺 君は。

青年 仕事です。

十善寺 何の。

青年 取材。

十善寺 ……新聞社かね。

青年 東京日報の長崎支局。……ほら、挨拶に行ったじゃありませんか、転勤の。お会いしましたよ、刑事部屋で。

二人、何となくおりてきます。

記者 何です、いまごろ、こんなところに。

十善寺 君は。

記者 ですから、取材です。

十善寺 だから、何の。

記者 (指さして) あれ。

十善寺 娘。

記者 祝あぐり。十八歳。

十善寺 娘がどうした。

記者 まあ、それなんですがね。……あの、外人は来ませんでした。アメリカ人。

十善寺 ……

記者 父親なんですよ、祝あぐりの。……といつても、ほら、あるでしょう、精神養子。あれです。……特ダネなんです。

十善寺 しかし、あの娘は、君……

記者 こののばあさん、祝筆の孫。つまり、祝筆の息子六平太の長女。……戸籍上はそうなってますが、ちがうんです。……ひろわれたんです。養女です。母親は彼女を生んですぐ死んだ。戦災……っていうか、ほら、例のあれ。はつきりしないんですが、父親っていうのはどうも……

十善寺 (目くばせ)

記者 え。……ああ。

あぐりがバケツトをさげておりてきます。

記者 あのう……

あぐり、無表情に通りすぎます。

記者 きれいだなあ。……ね、ちがうでしょう、やつぱり。

十善寺 君。(と腕を)

記者 え。……ああ。

新聞記者の靴が鶏頭をふんでいます。

十善寺 で、どうしたんだ、アメリカ人が。

記者 そいつが来るんです、彼女に会いに。

十善寺 特ダネかね、それが。

記者 そこなんだなあ。

十善寺 精神養子で結ばれた親子の対面。しよつちゆう出とるじやないか。新聞。

記者 ところがこんどはちがう。……だれだと思えます、その外人。

十善寺 ……

記者 わかりっこないです。想像外。だから、特ダネ。……いえませんねえ。

十善寺、興味なさそうに離れます。新聞記者、寄って行きます。

記者 実はぼく、東京の本社では家庭部だったんです。もともと社会部ではいったんですが、抜かれましたね、ち

よいとしたネタを。それで家庭部。夏物衣類のシミの抜き方、豆腐と油揚げを使ったロシア風中華料理、ゴキブリ退治三つのコツ。……やりきれませんよ、これじゃ。念願かなって社会部復帰。長崎にとばされるくらい何だっというんです。先月着任。とたんに、このドカネタ。……たまりませんじゃないですか。……ね、刑事さん。

十善寺、離れます。記者、くっついて行きます。

記者 絶対に口外しないという約束なら、いつてもいいですがね。

十善寺 さあ。

記者 第五福竜丸、水爆実験の死の灰をあびて焼津に帰港。……それ以上のスクープなんです。困るんです、事前に他社にもれたりしちゃ。

十善寺 なら、しゃべらにやええ。だれも教えてくれと頼んでおりやせん。

記者 実はですね、十善寺さん。

十善寺 知らんぞ、わしは。

記者 実は……ここにやってくる外人というのは……広島と長崎をやっつけた、B二九のパイロットなんです。

十善寺 ……

記者 ほうら、ビクツときたでしょう。だから、いつてるんです。

十善寺 B二九のパイロット。

記者 そうです。……(メモをくって)クリストファ・リビンググストン。四十五歳。当時空軍中尉で……というところ、二十五か六ですね、あの時分。……の、ええと……ストレート・フラッシュ号という先導機の機長をやった男です。現在はテキサス州の……ほら、バン、バン、バン……(ふりかえって)あ。

祝六平太がおきてきます。張りたての白い提灯をいくつかもち、眼が不自由なのか、慎重な足はこびです。石段の下でちよつとよろめきます。

記者 あぶない。(と十善寺の腕を)

十善寺 ……

記者 六平太。……祝六平太ですね。

六平太 手さぐりで、しかしそれなりに慣れた手つきで綱を張り、提灯をつるすと、また石段を上ります。眼はひらいたままです。

記者 変だなあ、あの人。

十善寺 ん。

記者 眼。

十善寺 ……明きめくらじゃよ。

十善寺、向日葵を。

記者 何です。

十善寺 見すぎたんじゃよ。

記者 花を……ですか。

十善寺 お天道さまを、な。

記者 太陽。

十善寺 そう、太陽を。

十善寺、しゃがんで、葉鶏頭を直します。

記者 ……どういう意味です。

十善寺 戦時中、唐人景に防空監視哨があつてな。……(指さし)あの山だ。

記者 ええ。

十善寺 敵機が射程内に入ると、稲佐山……あれ……の高射砲陣地がこれを激撃して、ただちに撃墜する。

記者 ええ、うまく当たった場合ですね。……で、その、祝六平太は監視哨の……

十善寺 哨長。

記者 はあ。……でも、なぜ、太陽を……

十善寺 敵機の侵入径路は、午前中なら東南東、午後なら西南西。つまり、敵は太陽を背中にして目標に接近する。
……

記者 ははあ。佐々木小次郎、いや、宮本武蔵。いや、つまり、敵流島。

十善寺 そこで、命令がきたというわけだ。……太陽を見つめろ、太陽を凝視せよ、太陽に眩惑されて任務の遂行に支障をきたすべからず。無茶な話さ。……しかし、それからというもの、朝昼晩、あの男……には限らんが、とりわけあの男は熱心に訓練にはげんだ。太陽をみる、太陽から眼を離すな、太陽の中の敵を発見せよ。……それを双眼鏡でやったというんだ。ばかな。

記者 と……太陽性……日蝕性網膜炎、ですね。こりや、ひどい。

十善寺 あの男がいうには、鼻先に大きなまつくろけの玉があつて、そのまん中に針の先でついたような洞穴があいどる。そして、その洞穴にそれこそ小さい、ケシ粒のような、天然色のこびとが見えるんだそうさ。……ばあさんは、そりやマリア様か観音様じゃろうというんだが、あの男は、陛下だ、今上陛下だ、今上陛下が白い馬にまたがって、サーベルつって、失敬しとんなはるんだというてきかん。

記者 ……感動的だなあ。

六平太がおりにきます。そして、また提灯です。

記者 灯籠ですね、精霊流しの。

十善寺 終戦からこつち、日にち毎日、朝から晩まで灯籠づくり。そればかり、二十年。それよりほかには何にもせん。町にも出ん。一步も出ん。それで二十年。

記者 ……

新聞記者、つかつかと六平太の前に行き、名刺を抜きます。

記者 ぼく、こういう……(気がついて引っこめる) あのうち……東京日報の支局の者なんです、実は……

六平太 (みる)

記者 そのう……つまり……ここにですね……妙な外人が来ませんでした。四十四、五くらいのアメさん。

六平太 (首をふる)

記者 ご迷惑はかけません。会いたいんです、ぜひ。

六平太 わしに聞いてもわからんとですよ。わしには何にもわかりまつせん。

記者 来ることになつてゐるんですがね、たしかに。……そうですか。いいです。待ちます。あ、それから、おたくのあぐりさんのことなんですが、あの人……あ、来た。

あぐりがバケットを手にとります。記者、あわててカメラをとり出し、何枚かシャッターをぎります。

記者 東京日報です。……あなた、あぐりさんですね。

あぐり……

記者 詮索がましくて恐縮なんですが、実はあなたの養い親になつてゐるアメリカ人の名前……たしか、クリストフ

ア…… (メモをみて) リビンググストンでしたね。テキサス州のミスター・リビンググストン。

あぐり……

記者 その人に会いたいんですが、最近、手紙か何か……

あぐり、六平太の前にバケットを一つおくと、そのまま段を上ります。

記者 あ、もし。……君。

十善寺 君。

記者 しかし、きれいだなあ、あの娘。むぞらしかあ……というのかな、こっちの言葉で。

六平太 ああた。

記者 何です。

六平太 あれは、物いわんどですよ。

記者 え。

六平太 あれは、物いわんどですよ。

記者 ……オシですか。……まさか。

十善寺 君。(腕を)

記者 え。

新聞記者の足がまた鶏頭をふんでいるのです。

六平太、バケツの水を向日葵と鶏頭にやり、むこうに行きます。十善寺が六平太に何かいいます。

記者 何かいいましたね、いま。

十善寺 ……

記者 なぜ、おおきに、なんです。

十善寺 この鶏頭、わしが植えたんでね。

記者 はああ。……でも、なぜ。

十善寺 どうしたわけだか、すきでな、赤い花が。鶏頭だの、ダリヤだの、紅葉だの。

記者 似合いませんね、刑事に花。とくにあなた。

十善寺 どうして。

記者 あなたは、けだものを殺したり、肉をムシヤムシヤやったり、毛皮を敷いて坐ったり、そんな感じだな。

十善寺 (笑)

記者 しかし、刑事さん、ここに何の用事。……あ、これ、さつきも聞いたな。……ねえ、なぜです。どんな用件です。

十善寺 人を待つとるんだよ。

記者 だれを。

十善寺 ん。

記者 だれをです。

十善寺 ……

記者 これだからなあ、警察は。

十善寺 ところで、さっきの話はどうなった。テキサスでバン、バン、バンは。

記者 それそれ、それなんですがね。……そのリビングストーンという男……実は強盗なんです。

十善寺 なに。

記者 それも一回や二回じゃない。なんと、前後八回。

十善寺 八犯。

記者 ところが、おかしい。……いいですか。強盗はやった。郵便局、銀行、ドラッグストア、スーパー・マーケット。たしかにやった。そして八回逮捕された。しかし、裁判になると、かならず無罪。

十善寺 ……きちがい、かね。

記者 ご名答。……精神に著しい異常が認められる。それが無罪判決の理由。しかし、本人は決して精神異常ではない、正気だ、そういうんです。……で、もちろん、精神病院に入れられる。が、たちまち脱走する。つかまえる。脱走する。つかまえる。脱走する。そして、また強盗をやる。……ホールド・アップ。金出せ。金出す。ところが、この強盗、金には一セントも手をつけない。そして、いう……さあ、一一〇番だ。

十善寺 ……

記者 なぜか。なぜ、金はとらずに警察をよばせるか。……どうです、このクイズ。

十善寺 ……

記者 犯罪者になりたいんです。自分が犯罪人であることを証明したいんです。

十善寺 犯罪者のなかにはいろんな了見のがいるからな。名誉心とか英雄になつてみたいとか……

記者 ちがいます。逆です。……かれはすでに英雄だったんです、テキサスの。

十善寺 テキサス。

記者 バン、バン、バン。……何だと思います。……リトル・ロックの決闘。ノウ。……テキサス・レーンジャー。

ノウ。……アンタタッチャブル。ノウ。……もつと、こつち。つい、去年。……バン、バン、バン。

十善寺 大統領か。

記者 そう、ダラス。その通り。……リビングストンは英雄だったんです、ダラスの町の。……かれが凱旋したとき、町は楽隊をくり出して出迎えた。新聞は三段ぬきの顔写真をかざった。……あ、タバコ。

記者、十善寺に手を出します。火までつけてもらい、大きく一服です。

記者 ……ニコニコ顔で三年がすぎた。ジャクリーヌというフランス生まれのおかみさんとの間に二人の女の子もできた。が、それからがいけない。……上の子が死ぬ、原因不明。下の子が死ぬ。原因不明。そしてこんどは、やっこそん自身がおかしくなる。……夜中にうわごとをいう、うなされる。叫ぶ。……Y、² Q、² B、² C。¹

十善寺 それは。

記者 広島上空の雲量…各高度とも一ないし三。第一目標を攻撃せよ。……暗号です、五〇九爆撃隊の。

十善寺 ……

記者 最初の強盗は郵便局でした。犯人がリビングストンだとわかると、ポリスは鄭重にかれを自宅に送りとどけた。二回目のおきもそう。三回目も同じ。ポリスや町の人間にとつて、かれは厳然として英雄なんです。……酒びたりの毎日。そのころでしょう、かれは広島に手紙を書き、施設に金を送り、そして、長崎の原爆孤児の一人と養子縁組を結んだ。……ことし十八になる女の子です。

十善寺 長崎にも来たのかね。飛行機で。

記者 たぶん。

十善寺 落したのかね。あいつを。

記者 たぶん。

とつぜん、近くで蟬の声。楠の木のどこかです。と、六平太がそろそろと木に近より、幹を見上げるような表情で耳をすまします。そして、手をのびし、そっと捕えます。――新聞記者、大いに驚きます。

六平太、ややあつて、蟬を放ちます。

記者 本社から長距離がはいったんです。きのう。……リビングストンが日本に向かったらしい。デンマークの貨物船、ガートロード号。日本での寄港地は横浜。神戸。そして、ここ、長崎。

十善寺で。

記者 港にとんだら、出航したあと。(上を)あの線だとらんで、その足で県庁。市の管轄だというんで、市役所の渉外。ドンズバです。

十善寺 来とるんだな。たしかに。

記者 きのうの午後、祝あぐりのことをたずねていったアメリカ人がいるっていうんです。ここの地図もね。

十善寺 大丈夫かな。

記者 絶対です。

十善寺 相手はアメさんだよ。

記者 英語。……英文法やってますからね。学校で。……Peaceful harbor, peaceful town and peaceful sky

……平和な港町の平和な空。

へリコプターです。近づいてきて、去ります。六平太が仕事の手をやすめ、耳をすましています。

六平太 刑事さん。

記者 何です。

六平太 刑事さん。

記者 ぼくじゃいけませんか。

六平太 ……いまのへり、市役所のシコルスキーとはちがうですか。

記者 そうです。シコルスキーです。……え、よくわかりますね。

六平太 高度は三百ぐらいのもんでしよう。

記者 三百。

六平太 ビラか何か、あやしていきはせんかったですか。

あぐり 花びらのごと落ちります。ピンクのビラです。

記者 そう、ピンク。……え。

新聞記者、びっくりして二人の顔を見くらべます。いつの間にか、六平太のそばにあぐりが来ているのです。十善寺がぼそりと笑っています。

記者 君……物いえるじゃないか。

あぐり ……

記者 そうさ、おかしいよ、こんなきれいな娘さんがオシだなんて。

六平太 すこしは、物いえるんです。ばってん、ようけはいえんとですよ。

記者 なぜです。

六平太 物いわんでもすむとです。ですけど、物いわんとです。

記者 どうしてです。

六平太 ばばしゃまですたい。うちにはばばしゃまのおんなはるけん、物いわんでもよかとです。……ばばしゃま

が何から何までしてくれなはるけん……な、あぐり。

あぐり (うなづく)

記者 ……

二人、手をつないで段を上ります。六平太、口の中で呪文のごとき文句——あとでわかります——をとなえながら、手を引かれて行きます。ポカンと見送っている新聞記者の肩を、十善寺がたたきます。

外人が現われたのです。アロハ・シャツにサングラスのずんぐりした外人が、じつとこちらを見えています。

記者 ……強盗前科八犯。……ようし。

新聞記者、意を決して進み出ます。

記者 Hallo……Good afternoon.

外人 ……

記者 I am very glad to see you.……I am Tokyo Nippo Press. ……Interview.

外人 ……

記者 When did you come to Japan? ……あ、もうやわかってんだ……ええ……How much days……ちがう
……How many days will you stay here……Nagasaki?

外人 ……

記者 Excuse me……but……I have been waiting for you for long long time ……you see? ……わかんねえ
のかな。……あのね……you……are……Mr. Christopher Livingstone……the American pilot of B-29……aren't
you? ……I believe so. ……わかってんだ。

記者、必死です。外人、腰をおろして黙って眺めています、やがて――

外人 あんさん、何いうてはりますねん。

記者 え。

外人 わて、日本語話せますよつてに、けつたいな英語、使わんといほしいわ。……あんさん、だれだす。

記者 「あ……いや……あのう、記者です。東京日報。

外人 何の用事だす、わてに。

記者 インタビュー。……聞きたいんです。いろいろ。……あ、その前に写真を。

記者、シャッターをきります。

記者 いやあ、おどろきましたね。こんなにペラペラとは知りませんでした。助かります。

外人 ……

記者 で、あなた、きのう、役所に行きましたね。City office.

外人 Yes.

記者 養子縁組のことで、祝あぐりのことたずねましたね。

外人 Yes.

記者、十善寺に会心の笑みをおくります。

記者 で、お聞きしたいんですが、今回の来日の目的は。

外人 何しに来たかいわはりまんのか。

記者 Yes, that's right.

外人 見物だす。Sight-seeing.

記者 なるほど。で、ほんとうの目的は。

外人 そやな。……でけたら、娘はんを一人つれて帰る思うとります。

記者 テキサスにですな。

外人 Texas? ……What do you mean?

記者 だつて、あなた、テキサスから来たんでしよう。ダラス。

外人 Oh, no!

記者 オー・ノウつたつてだめです。ちゃんともう、わかってるんです。

外人 何がだす。

記者 いいでしょう。……あなたは、クリストファ・リビングストーン。テキサス生まれで、四十五歳。原爆攻撃に

参加した元空軍中尉。前科八犯。強盗。

外人 こらまた、えらいこつちや。

外人、カラカラと笑います。

外人 さつから、どうもおかしいおかしい思うてたら、とんでもない人違いや。……わて、ハリー・平いうて

Hawaiiから来ましてん。商売はレストランの経営。爆弾ほうつたり、強盗はたらいたり、そないな物騒なこと

ようしまつかいな。

記者 ……

記者、敗北のようです。ハリー、扇子をつかいながら——

ハリー あんさん。

記者 何です。

ハリー どこぞ水のむとこありまへんやろか。のどかわいてしもて。

記者 (上に) 祝さあん。……水いっぱいもらえませんか。お客です。へんな。

記者、離れます。十善寺、そばに寄ります。

十善寺 ……あなた。

ハリー 何だす。

十善寺 あなた、なぜ原爆孤兒なんかを養子に。

ハリー わてらの原籍、広島だす。小学校大阪でしたんやけど、パパとママ、広島の有ですねん。

十善寺 と、日本人ですか。

ハリー ちがいます。アメリカだす。 United States……あんさんは。

記者 (むこうから) 長崎署のデカさんですよ。

ハリー デカ。

記者 Policeman……detective.

ハリー See.

十善寺 ……で。

ハリー 親類が残つとるか知れんいますよつて、わて広島に行つてみたんですわ。……だあれもおらしまへん。

原爆だす。そやさかい、こないして、長崎に。

十善寺 慈善ですか。

ハリー Eh?

記者 (む、ひから) Charity!

ハリー ちがいます。

十善寺 とうとう。

ハリー Honolulu じ Restaurant やのちのちあつてしやろ。人います。Charity ちがいます。

十善寺　そうですか。

ハリー　日本の政府、面倒ようみんないう話聞いとります。そやったら、供養にもなる、こう思うとりますね。

あぐりが水をもってきます。

ハリー　こら、えろう、すんまへん。

あぐり……

ハリー　わて、ハリー・平いう者だす。あとであんさんに話あります。

あぐり……

あぐり、もどります。じつと見送ります。

ハリー　……あぐり、いうからどないな顔した娘か思うとつたら、えらいまだ、べっぴんやなあ。

記者がやってきます。

記者　しかしね、ヘンリーさん。

ハリー　わて、ハリーだす。

記者　失礼。……ねえ、ハリーさん。

ハリー　何やね。

記者　あんた、簡単にあの娘がもらえろと思ってるようだがね。ちよいとした事情もあるし、それにこのばあ

さんが何というか、おいそれとはいきませんよ。

ハリー　このママはんやったら、さつき下で話しましたわ。

記者　下で。

ハリー　もうじき、上つて来やはりますやろ、……ええママさんでっせ。

記者　……

遠くで蟬がなっています。

記者、かなわんといった顔で木片をはりつけた小屋のまわりを歩きます。木片は火事の焼け残りや看板や表札の

類なのです。

記者 ……要塞司令部御用達、西岡洋服店。……カステラーは……なんとか屋。……東浜町第二米穀配給所。……これはまた集めたもんだな……なに……今回ノ特殊爆弾ニヨル負傷ハ、海水中ニ浸レバ効能アルモノノゴトクデアル……西部軍管区司令部。……何だい、この小屋。

記者、扉のフシ穴から中をのぞこうとします。が、急に「痛い！」と大声をあげ、体をおさえます。どこからか小石がとんで来たのです。ふりむくと、一人のばあさんが立っています。祝筆です。
ハリーが立ちます。

ハリー やや、ママさん、さつきはどうも。

筆、ていねいに会釈をかえます。そして、そのまま通りすぎようとします。

記者 あ、ちよつと。

記者、筆の前に。

記者 祝筆さん、ですね。

筆 ……

記者 テキサスから来たミスター・リビングストンに会いたいです。どこです。

記者、手にもっていた小石を筆の前におとしてみせます。

記者 リビングストンという外人が、きのう市役所でこちらのことをたずねてるんです。来てるはずですよ。東京日報です。

ハリー 市役所はわてやがな。わてのことやがな、その外人は。

筆 だあれも来ちやおんなはらんです。

記者 リビングストンは、しかし、おたくのあぐりさんの…

筆 だあれも来ちやおんなはらんです。

記者 でも、本社からの情報ではたしかに日本に…あ、もし。

筆、行きます。が、石段のところで立ちどまります。十善寺が道をふさいでいるのです。筆、遠まわりをして小屋にはいります。

記者 誤報かな。やつぱり。……かも知れんなあ。……強盗犯の原爆パイロット、険の娘をたずねて長崎へ。涙ながらに語る平和への決意。出来すぎてるなあ、このお話。

サイレンです。火事のようなです。消防車のあれです。

記者 火事かあ。火事ぐらいのもんだなあ。それもボヤ。……死んでしまいたいような平和。

記者、ごろりとなります。

記者 Peaceful harbor, peaceful town and peaceful……

記者、はね起きます。

記者 しかし……あのばあさん。どつかで見たような気がするなあ。

小屋の扉がいて筆が出てきます。何くわぬ顔で行こうとします。が、待ちうけていた十善寺に腕をつかまれます。

筆 だあれもするとはいいよらせんですよ。離してくださいませよ、刑事さん。もう決してしまっせんのですけん。

ハリー どないしやりましたん、刑事はん。

筆 いじめなはるとですよ。何にもわるいことはせんのに、いじめなはるとですよ、こげんして。

筆、泣きます。でも、すこし大きいです。あぐりが顔を出します。

十善寺 もう、せんか。

筆 (うなづく)

十善寺 もう、せんか。

筆 (うなづく)

十善寺 こんどだけだぞ。

筆 (うなづく)

十善寺　そして、もうせんな。

筆 (うなづく)

十善寺、手を離します。新聞記者とハリー、狐につままれた顔です。

筆、涙をふきながら出て行きます。あぐり、見送って、戻ります。

記者　どうしたっていうんです、いったい。

十善寺　平和公園があるだろう。

記者　ええ、例の銅像のある。

十善寺　あすこに手拭かぶったばあさんたちが物を売りよる。

記者　ええ、観光客相手に絵葉書やジュース。

十善寺　そのなかにひとり、原爆で焼かれたもんだというて、カワラやサイダーの瓶を並べとるのがおる。

記者　ええ、ええ、います。売れるそうです。

十善寺　そのばあさんの顔に見覚えはないかね。

記者　あ。……そうかあ。……でも、なせいけないんです、それが。

十善寺　ここのばあさん・火事のサイレンを聞いて出て行った。いつもそうだ。……わかるかね。

記者　はあ……そうですか。ニセモノなんですね、その原爆ガワラ。

十善寺　ビールやサイダーの瓶もな。

ハリー　……あ。

記者　どうしたんです。

ハリー　これ。

ハリー、くねりとまがったガラスの瓶をとり出します。

十善寺　いつです。

ハリー さっき下で道聞いたら、そんならわたの家や、案内しまひよいうて、その途中ですわ。
十善寺 いくらです。

ハリー 五ドルにまけとくいうて。

記者 (手にとり) 五ドルというと……二五の十五で、……千八百円か。

ハリー マガイ物でつか。

記者 みいな。……コカコーラですわ。

三人、顔を見合ませます。

と、そこへ筆が戻ってきます。しよんぼりしています。

十善寺 どうした。

筆 ……

十善寺 やめたのか。

筆 火事……消防署げなです。

記者 (笑って) 犬がかみついたんじゃニュースにならない。しかし、人間が犬にかみついたらニュース……や、こ

りやいかん。……ばあさん、どこの消防署。

筆 電車通りだけなです。ほれ、ABCに曲る角の。

記者 失礼します。また。

筆 あ。

記者 ……

筆 写真機。

新聞記者、カメラを忘れるところだったのです。ハリー、立ちあがります。

ハリー ほなら、わても帰らしてもらいますよつてに、祝はん。

筆 ……

ハリー 娘はんの話、あしたにでもまた寄せてもらいます。

筆 はい。

ハリー 何や、えらいたまげてしてもて。……ほなら、刑事はん。

筆 あのう。

ハリー 何だす。

筆 それ。(瓶)

ハリー わかつてますがな。

行きます。十善寺も立ちます。

十善寺 わしも帰るがね。ばあさん。

筆 はい。

十善寺 記念日の近くになると、こうして外人も多うなる。原爆ガワラが焼け跡のガラクタだとわかれば、国際的な政治問題……にはなんかもしれんが、長崎の、ひいては日本の信用をおとすことにもなる。

筆 はい。

十善寺 上のほうじゃ、こんどやったらひつくくれちゅうとる。……戦後二十年。そろそろ、潮時じゃないのか。

筆 ようわかつとります。

十善寺 たのむぞ。

筆 はい。

筆 ていねいなお辞儀。十善寺、かえります。筆、ぼんやりした顔です。が、急にいきいきとした声を出します。

人が、かわったようす

筆 あぐり。……あぐり。

あぐりです。

筆 クリスさん……ストンさんばよんで来てくれんか。みんな帰ってしもうたてな。寺の山門であそんどんなはる

けん。

あぐり はい。

行きます。筆、腰をおろし、キセルを出します。

筆 六平太。

六平太が来ます。六平太、筆のうしろにまわり、肩をもむのです。

筆 六平太。

六平太 はい。

筆 体の塩梅はどうかい。

六平太 ぱつとせんごたるふうです。

筆 八月はせつなかのう。

六平太 八月はほんにせつなかです。

筆 用心せんばぞ。

六平太 そう思うとります。

筆 提灯はもういくつになつたかい。

六平太 きようで、六千九百と四十五。

筆 ほう、もうそげんなるかい。

六平太 あと十日で十九年ですけん。

筆 そうたいのう。戦争のおわつて一年目の八月十五日じやつたけんの。ばつてん、まだまだたいのう。

六平太 はい、まだまだです。

港の汽笛がひびいてきます。

筆 和平のことじゃがのう。

六平太 はい。

筆 近頃、帰りがキチンキチンせんごたるふうじゃが。

六平太 何やら、ようわかりまつせん。

筆 組合てろやりよる噂じゃが。

六平太 ようわかりまつせん。

筆 こまか時から横道者じやったけん、妙なことになるにやええがの。

六平太 はい。

筆 いまかかつとるノールウエーのタンカー、進水は盆の十五日じゃったかいの。

六平太 そげんいいりました。

筆 それからな、六平太。

六平太 はい。

筆 きのう来たアメリカ人……ストンさん。あん人、しばらくうちで面倒みることにした。仲ようしてやらんばぞ。

六平太 はい、わかつとります。

あぐりがクリストファ・リビングストンをつれてきます。背のたかいヒゲの男です。

あぐり ばばしやま。

筆 来たか。……さあ、こつちにおいで。

あぐり ばばしやま、ストンさんが飛行機のビラばひろいなはったとです。

筆 読むでやったか。

あぐり いま読みよつたとです。

筆 県庁か市役所のとじやろ。聞いとるけん、続きば読むでみれ。あぐり。

あぐり ……とくに九日の記念日には、外国の方がおおぜいみえます。国際文化都市長崎の市民として、お客様を

心からあたたかく迎えますしよう。人類の心はひとつ。世界の平和は長崎から。ピース・フロム・ナガサキ。

筆 人類の心はひとつ。……ばってん、人類人類て聞くと、何かしらん、チンパンジーのごたるねえ、あぐり。

祝和平が来ます。造船所の工員です。すたすたと石段のほうへ行きます。

筆 和平。

和平、とまります。でも、そのまま行つてしまいます。

筆 もうよかぞ、六平太。……おおきに。……さあ、めぐり、おとしゃんばつれて行け。
めぐり はい。

めぐり、六平太の手を引いて上に。

筆 ストンさん。

クリス Yes.

筆 はい、ていいなはい。

クリス はい。

筆 きよう一日、どこばさらいたな。

クリス 天主堂。マリア、見ていました。

筆 それから。

クリス マリアだけ見ていました。

筆 マリアだけ。

クリス Yes.

筆 はい、ていう。

クリス はい。

筆 ああた、神戸からの途中、広島に寄つて来なはったそうじゃが、どげんところかい、広島は。

クリス ……

筆 ん。

クリス いま、いいたくないです。

筆 いいとうない。

クリス ごめんなさい。いま、だめです。

筆 なして。

クリス わたし、八月だめです。頭へんです。まいとし、八月にわたしの頭、病気です。わたしの心、外出します。

鐘が聞えてきます。地理からいつて、たぶん浦上の天主堂でしょう。クリス、十字をきります。筆もきります。クリスをまねたのでしょうか。

クリス ばばしやま。

筆 ん。

クリス わたし、ばばしやまに、話あります。

筆 話。

クリス そうです。大事な話です。

筆 どげんするかのう。わし、きようはちいとばかりなえとるでのう。

クリス きようでなくて、いいです。でも、一生懸命に話したいこと、たくさんあります。聞いてください。

筆 聞きたい、聞きたい。

クリス Thank you……わたし、ばばしやま、すぎです。でも……

あぐりが戻ってきます。

筆 でも…… 何かい。

クリス あとでいいです。…… (あぐりに) どうぞ。…… わたし、むこう行きます。

クリス、離れます。

あぐり 兄しゃん、ストンさんをすぎじやなかごとあります。

筆 何かいうたか。

あぐり 早う帰ってもらえって。

筆 ふがじんじゃけんとう、あやつは。

めぐり ……

筆 あぐり。

めぐり はい。

筆 こんや、ばばしゃんは、広島に行ってくる。

めぐり 広島。

筆 キップも買うて来た。九時の夜行たい。あしたの朝着く。

めぐり はい。

筆 ばばしゃんのおらん間、あぐりはばばしゃんの小屋に寝る。よかね。…それから、家のなかば頼むぞ。…

和平の弁当。六平太の行水。提灯張り。それから、ストンさんのツメ。鬼のツメのごつごつとびとる。

めぐり はい。

筆、背をかがめます。歌を口ずさみます。

青葉茂れる桜井の

里のわたりの夕まぐれ

木の下蔭に駒とめて

世の行く末をつくづくくと…

あぐりが涙をふいています。

筆 あぐり。

めぐり ……

筆 娘の子は、いつも笑うとらんばすかれんぞ。男に。

めぐり ……

筆、つと立ちあがります。

筆 そろいもそろうて、カタワ者ばっかいたい。

筆、はきすてるようにそういつて、奥のほう―六平太や和平やクリスのいるブラックのほうを、ふりむきます。

2 怒の段

昨日の敵は今日の友

語ることはもうちとけて

我はたたえつかの防備

かれはたたえつわが武勇

——尋常小学校読本卷十・唱歌

墓地です。

日暮れ時です。

夕焼けの光のなかに、白い提灯があちらに―一列、こちらに―一列と、ほのじろくうかんでいます。六平太の仕事が

二、三日すすんだことを示しているのでしょうか。

天主堂の鐘が聞えています。

向日葵を植えたあたりで、あぐりが六平太に行水を使わせています。

六平太 その日も、ちようどこげな夕焼けでう。……お日様が稲佐の山に沈むか沈まんかの時分、軒先の、ダリアの化け物のごと真赤にそまった向日葵のそばにタライは出している。……わしが和平ばいだいて、おうい、熱かぞう、和平がヤケドするぞう……ちゆうておらぶと、和平の母親の和世が水ば汲んできてくれて……おとしや

んな、自分が熱かもんじゃけん、水、水ていいよらす、こぎゃんぬるか湯にはいると風邪ひいてしまうよ、ない
和平……ちゆうて、わしの手から和平ばとりあげてしもうてな。……八日の大詔奉戴日の晩で、これから夜勤に
出るちゆう、やつぱこんやのごと風の日じやつた。

あぐりが背中をふきます。

六平太 さあ、あしたはよか天気になるぞ、ビーでもグラマンでも来い、唐人景は、日本一の監視哨だぞう……わし
がふとか声しておらんたら、いきなり和平のやつが泣き出してのう。

六平太、すこし笑います。

六平太 祝和平、和世の和に六平太の平。……忠義ばつくせ、ちゆうてよか名前ばもろうとるくせして、あやつ、
あの何にもなか時分に豚の子のごと、ころころふとつてな。……ばばしゃまがよういいよらした。こやつは大き
うなつても、忠義や孝行はせんかもしれんぞ、六平太。もうからして、ほれ、横道者の眼ばしとる。

六平太とあぐり、笑います。

六平太 上海の附近で脚ばやられて帰った次の年じゃけん、わしが二十五か六。……二十年じやのう。

あぐり、六平太に浴衣を着せます。

あぐり で、そのあくる日は、よか天気だったとですか。

六平太 ん。

あぐり 九日ですか、八月の。……真赤な夕焼けのあくる日です。

六平太 ああ。

あぐり 飛んで来たとでしよう、むこうの飛行機。

六平太 ……来た。

あぐり 見つけなはったとでしよう、ビー。

六平太 ……

あぐり 見つけなはったばってん、警報が出んかったとでしよう。……警報が出んかったけん、あげんおとろしか

ことになったとでしよう。……だけん、兄しゃんのおかしやまも……

六平太、だまってタオルを渡します。

あぐり すみませんでした。そげんこと聞くつもりじゃなかったとです。うち。

六平太 あぐりは湯を使わせてうまか。……ばばしゃまの仕込みじやのう。

あぐり ……

六平太 きょうが八日。……もう三日にもなるとに、ばばしゃまはどけ行かしたとやろかいね。あぐり。……ばば

しゃまのおんなはらんと、何とはなしに、頼りのなか気のするねえ。淋しか気にするねえ。

六平太、そついいながら行つてしまいます。あぐり、あとを片づけます。と、クリス・リビングストーンが帰つてきます。

あぐり あ。

クリス、腰をおろします。

クリス 一日のうち、人間、とても悲しい時間、あります。日が暮れて、夜まだこない、ちようどこの時間。……

そう思いませんか。

あぐり 思います。

クリス でも、その時間、女の人のいちばんいそがしい。だから、男だけ悲しむ時間。男、それしかすることない。

あぐり ずっと、マリア様ですか、きょうも。

クリス (首をふり) 町、すこし歩きました。……浜町から新地、南山手、出島、大波止。……船で立神に渡つて浦上。そしてここ。

あぐり まあ、それ、すこしじゃないです。長崎の全部です。ストンさん。

クリス やっぱり、ここ、いちばんです。わたし、ここ、すき。

あぐり でも、ひとりで、ようそげん……

クリス 長崎、知っています。だれよりも知っています。……たとえば……稲佐山。海拔三三三メートル。金比羅

山、三六六。この二つの点をむすぶ。約一キロ。そのまんなか。浦上。長崎製鋼所。すぐそばです。

あぐり ええ。

クリス 船蔵町から橋をわたって稲佐に出る。そこから南へ七〇〇メートル、要塞司令部。八〇〇メートル、憲兵隊本部。そのとなり、三菱電機の工場。

あぐり むかしのことですね。ずっとむかし。

クリス そうです。……要塞司令部、いま、middle school. 憲兵隊はGame center……PACHINKOの看板ありました。

あぐり ええ。でも、なしてストンさんは……

クリス わたし、長崎、三回来ました。……一回目、飛行機。長崎、空からみました。地図のとおり。でも、地図みないで、わかりました。……司令部。憲兵隊。長崎製鋼。三菱兵器。三菱造船。……それから、高射砲の陣地、稲佐山。防空監視哨、唐八景。わたし、……早く忘れない。でも、だめ。

あぐり ……

クリス 二回目、汽車。……長崎、原っぱでした。一九四五年の十月。あぐりさん、まだ生れていない。……そして、三回目。こんど。船で神戸着きました。広島でおりて、すぐ長崎。……県庁にも市役所にもわたし行かない。address みて、すぐここ来ました。

あぐり みんな、たまげたとです。いきなりでしたから。

クリス このことも知っています。……ここ、天主堂から東北へ二キロ、家野です。長崎の人、ザビエル村にいます。むかし、迫害されたクリスチャン、ここで信仰もった。天主堂、かれらのたたかいのmonument. でも、爆弾、そこにおちた。爆弾、そこにおちた。……爆弾、なぜそこにおちた。

クリス、急にすこし昂奮します。

クリス ……失礼。わたし、混乱しました。でも、ほんのすこし。……もう、いいです。

あぐり 疲れておんなはるとです。あいう、お湯をわかしますから、体を……

クリス あぐりさん。

あぐり はい。

クリス あなたのお母さん、どんな人です。

あぐり ……

クリス そうでした。あなた生まれるとき、お母さん死にました。あなた、お母さんのこと知らない。

あぐり 踏絵って名前です。それしか知りません。

クリス 美しい人ね。たぶん。

あぐり ……

クリス お父さん……アメリカ。

あぐり ……

クリス 聞きやすい質問だれでもします。聞きにくい質問、聞く人もつらい。……でも、そのこともういいです。

……ごめんなさい。

あぐり ……

クリス わたし、日本の女の子、ひとり知っています。……名前、フランシス。……戦争が終った年、わたしたち、

たくさんで長崎来ました。そのとき、フランシス知りました。……その人のこと、わたし忘れません。……きれ

いな、きれいな、やさしい……でも、こわい人でした。あなた、その人……フランシスに似ている。

あぐり フランシス。

クリス そう。でも、日本の名前、わたし知らない。生きてるか死んだか、それも知らない。……でも、わたし思

う。その人、たぶん、死んだ。

あぐり ストンさん。

クリス クリスとよんでください。わたしの父や母、そして、兄弟や妻、みんなクリスといいます。親しい人、そ

うよびます。

めぐり クリスさん。……クリスさんは、長崎に何しに来なはったのですか。……うちにはようわかりまつせん。
クリス あなたに会う、わたしの娘、どんなに美しくてかわいいか知りたい、それ、目的です。

めぐり それだけですか。

クリス それだけ……なぜ。

めぐり クリスさん……うちのことより、何か、ほかのことを考えとんなはる気のします。

クリス ごめんなさい。わたしの態度もしそうなら、心からごめんなさいいます。でも……

めぐり でも。

クリス ……

和平が帰ってきます。二人を横に見ながら通りすぎます。

クリス Mitsubishi Dock-yard……戦艦武蔵つくった。わたしたちのいちばん大きな目標の一つ。でも、無事で

した。……和平君、その労働者。わたし、だから、関心あります。……和平君もわたしに関心ある。でも、二

人の関心がう。……かれ、わたしを憎んでいる。

めぐり そうじゃなかとです。自分の気持がうまくいえずに、だけん、怒った顔するとです。九州、みんなそうで

す。男。

クリス 愛していますね。あなたを。

めぐり ……

クリス わかります。あなたも、かれ、愛している。

めぐり あのう……

クリス 何です。

めぐり クリスさんは、さつき物をいいかけたままほかの話……

クリス だめです。あなたも、いま、話題かえた。ずるい。でも、それ、二人とも同じ。

クリス、笑います。めぐりもです。

めぐり クリスさん。うち、クリスさんにいいものば上げます。

クリス わたしに。

めぐり、小屋の中へはいります。クリスも、何となく小屋のそばへ。めぐり、出てきて、うしろ手でピシヤリと戸をしめます。そして、クリスの手を引いてこちらへ来ます。

クリス キモノ。

めぐりがひろげた浴衣によるこぶクリスです。袖に手をとおします。

めぐり これ、夏の夕方、男の人ががととても悲しい時間に着る着物。

クリス おお、ありがと。めぐりさん、とてもうれしい。ありがと。

クリス、めぐりの手をにぎります。

めぐり クリスさん。

クリス 何。

めぐり わたしのこと……めぐり、というてよかとですよ。

クリス おお……めぐり……my baby!

クリス、めぐりをだきしめます。かなりの時間です。声がかかります。

和平 すげ。

和平です。墓石に腰をかけてやくぎなポーズです。二人、離れます。

クリス あなた、わたしのことすきではない。憎んでいる。それ、わかっています。

和平 ……

クリス わたし、憎しみ、こわくない。反対に、憎しみ、たくさんたくさん、ほしい。でも、それがどんな憎しみか、知りたい。とても知りたい。

和平 ……

和平、腰をかけたままです。

めぐり うち、ごはんの支度を。

めぐり、和平の前をとおって、バラックに入ります。和平、おりてきます。

和平 やい。

クリス ……

和平 お前……なしておとした。

クリス ……

和平 なしておとした。

クリス ……

和平 答えられまいが。

クリス ……

和平 なしておとした。

クリス ……

和平 お前、なして、爆弾おとした。

クリス ……

和平、クリスのまわりをぐるぐるまわりながら、そういうのです。

和平 答えらるるなら、答えてみれ。……え。……理屈はいらん。たった一口で答えてみれ。

クリス ……

和平 なして、おとした。

クリス 待ってください。あなたのいうこと、すこしづつ、すこしづつ、わかってきました。でも、いますぐいえない。

和平 爆弾、なしておとした。

クリス だから、待ってください。

和平 一口でいえ。……なして、おとした。

クリス わたし、答える。でも、すぐいえない。待つてください。

和平 答えらるるもんか、この、西洋坊主。すけべ。

クリス ……

六平太 和平。

六平太が立っています。ふるえています。そばにあぐりです。

六平太 こやつばたいたいてやつてくれんですか。思いきり、くらわしてやつてくれんですか、ストーンさん。

四人、動きません。

そこへひよっこり、ハリー・平です。半ズボンのしゃれたいでたち。

ハリー や、こら、どうも。……おそろいでんな、みなはん。……いやあ、もう、暑うて暑うて。……おまけに、

そのの山道、ようけ蚊が出よりましてな。

ハリー、ピシヤリと脛をはたきます。すでに腰をおろしています。

ハリー どうしやはりましたん。……なんで、四人ともホワーンとつつ立つとらはりますねん。……さよか。

ハリー、様子に気がついたのか、扇子をやたらにパタパタやります。

ハリー ……あるところに、子供が一人おったんですわ。おやつにドーナツやろう思うたら、そのガキ、穴のあい

たドーナツはいいや、穴のないやつ食べたい。こうダダこねますやねん。……ママさん、いいはりましたん……

ほなら、穴、のこしとき。

四人、何となくほぐれます。あぐりがそばに。

あぐり こんにちは。

ハリー やあ、こんにちは。

あぐり あのう、ばばしやま……

ハリー まだかいな。……困ったな。ちいとも話すすまんて。……あ、これ……この書類に、本人の承諾書……サ

インやな……と、本人が未成年である場合……やから、親のサインと……それに、戸籍謄本と市長の証明。これ

だけあれば、縁組OKや。そしたら、わい……

めぐり あのうち、お茶をもって来ますから……

ハリー ……あ、わい、水のほうがええわ。

めぐり、バラックのほうへ。和平がのっそり、近づきます。

和平 やい。

ハリー 何だす。

和平 本気か。

ハリー 何の話だす。

和平 本気か、その話。

ハリー 養子の話でつか。

和平 本気か。

ハリー 伊達や酔興で三日も通うて来ますかいな。本気だす。

和平 親がドンで死んだ娘でなからんばでけん……そげんいうたな。

ハリー Hawaiiのおかはんのいいつけだす。

和平 ふた親とも日本人でなからんば……そげんいうたな。

ハリー あいのこやったら、むこうには仰山おりますよつてに。

和平 ドンじゃなかつたら、どうする。

ハリー 親御はんがでつか。めぐりはんの。

和平 あいのこだつたら、どうする。

ハリー ……まさか。

ハリー、脛をはたきます。めぐりが水をもってきます。

ハリー あ、めぐりはん。……あんさんに、ええ物あげまひよ。

ハリー、般若の面をとり出します。

ハリー あげます。

めぐり (手にとります)

ハリー マリア観音がええかしらんおもたんやけど、あれ、ニセ物が多いいますよつてに。……どうだす。……

あ、何しやはります、あんさん。

和平が、めぐりの手から面をとり、ほうりなげたのです。ハリー、あわててそれをひろい、めぐりに渡します。

ハリー、和平を白眼視します。

ハリー ああ、いつもなら、昼飯おわつて、プールサイドのテーブルに坐つて、パパとママと、隣りのバツキー・和歌山とわてが、ちようど四人でオイチョカブやりよるころやなあ。

和平、いなくなります。めぐりがあとを追います。六平太がクリスのそばに行きます。

六平太 ストンさん。

クリス ……

六平太 爆弾ばあやしたとはわたしです。

クリス ……

六平太 爆弾ばなしてあやしたか、その訳は一口でいうてみれ、和平のやつがああたにそげんいいよりました。

……ばつてん、長崎に爆弾ばあやしたとは、ストンさんじゃなか。わたしですたい。わたしが、長崎に爆弾ばあやしたとです。

クリス どういう意味です。

六平太 ああた、あの日、高度一万で飛んで来なはつた。方角は東南東。時間は……八時五分。

クリス 一回目のときです。たぶん。

六平太 ああたは、長崎の上空は西北西につつきつて、五分もせんうちに、こんどは反対の方角から東に抜けて行きなはつた。

クリス 気象の状況と雲の量観測して、無電のキイたたきました。原爆をつんだグレート・アーチスト号、連絡待っていました。

六平太 そのときは、よう見えたとです。ちゃんと空襲警報も出りました。……ばってん、二回目です。時間は、十一時五分前。……ああは、もう一ぺん同じ方角から同じ高度で入って来なはった。

クリス 第一目標の小倉うまくない。第二目標の長崎OK。わたしたち、ターンしました。

六平太 聞えたとです。爆音の。いや、爆音じゃなか。耳には何にも聞えん。体にひびいて来たとです。何かこう、ビーン、ビーン。……こりやいかん、すぐ本部に、わしやそう思ったとです。ちょうど警戒警報になったばかりで、防備の体制はゼロ。こりや、大事になる。

クリス ……

六平太 わたしや、望遠鏡にしがみつきました。機種、機数、高度、進入方向は、確認するためです。……ビーン、ビーン……目標はだんだんこつちに来ります。わたしや、眼はカツとあけて雲のおくばにらみました。……哨長、爆音です。一〇五五、東南東に爆音です。まだ見えませんか、哨長。どうしたとですか。哨長。……だれかがうしろでおらんどりました。……カンでした。わたしや、視野ばちつとずつ移動させました。敵機はたしかに視野のなかにはいつとる。たしかにつかまえとる。いまにみとれ。あの雲が切れたら、そしたら、捕捉してやる。おのれ、ビーのやつ。おのれ、ビーのやつ。……望遠鏡がガラガラして来ました。太陽ですたい。ははあ、いつもの手ば使う気じゃな。ばってん、そうはさせん。その手にやのらん。さあ来い、ビー。……わたしや、望遠鏡ば、思いきって太陽にむけました。

クリス Ohh!

六平太 何も見えんとです。何も見えんとです。……いつもなら見ゆるとが何も見えんとです。……まあつくら……まあつくら……まあつくらかなかに、ぽつうんとハラワタの色ばした赤か点の一つ。……哨長、大型機二ないし三、高度一万、当市上空に侵入中。本部への報告はどうします。何ばしとるんですか、哨長。あ、落下傘で。落下傘発見。三個。おちて来ます。おちて来ます。……そのとたんでした。……シャツと

いう、光のごたるもんが体ばつきぬけていきました。そして世間が真白けになりました。しばらくして、青竹ばたち割る時の、ワリツちゆう音の聞えました。わたしや、ちがわん、ああが太陽に衝突しなはった、ああ……やった……そげん思うたとです。

クリス、六平太の肩をだいて腰をかけさせます。

六平太 地獄だったですよ、ストーンさん。……水ばくれえ……水ばくれえ……水ばくだはりまつせえ。

六平太、すこし不気味です。

六平太 和平の母親の骨ば拾いに行つての帰りですよ。道ばたの人間という人間が、そげんいうて手ば差し出すとですよ。……わたしや、和平の手ば引きひき、申しわけのござりまつせんでした、すんまつせんでしたちゆうて、謝まりながら歩きました。……したら、アルミの弁当ガラに入れた母親の骨が、カラン、カラン鳴るとですよ。和平にもたせた弁当ガラが、カラン、カラン鳴るとですよ。和平の母親が、カラン、カラン鳴るとですよ、ストーンさん。……小学校にあがった和平が、それば綴方に書いたとです。そしたら、よう書けたちゆうてほうびばもろうたちゆうとですよ。ストーンさん。……そればつかりじやござりまつせん。……四、五年もたつてから、和平の友だちの子供が死んだとですよ。……マンガの本がおかしかちゆうて笑いよつたら、わいわい、あやつはマンガみて泣きよるわいちゆうてからかわれて、それが悲しゆうて泣いたら、こんどは、泣きよるくせして面は笑いよるぞ、化け物、化け物……ていわれて、たつた七つの子が首くくつて死んだとですよ。……わたしや、いったい、どぎやんすれば立つ瀬のあるですか、ストーンさん。

六平太、泣きます。慟哭というのでしょうか、異様なくらいです。ハリーがそつと肩を。

ハリー 祝はん。……あんさんの気持、ようわかります。けど、それ、もうすんでしもたことだす。

六平太 すんじやおらんとです。ちつともすんじやおらんとです。……わたしや、ああして提灯ば一日に一張り、一日に一張り、ふうけ者のごとして作りよります。……ぼつてん、十九年もかかつてたつたの六千九百。……市役所の話じや、死んだ人間だけでも七万三千。……まだ十分の一の供養もでけとりやせんとですよ、ハリーさん。ハリー けどやな……ドンピカでようけ人が死んだんは、あんさんのせいやおまへんで。

六平太 わたしのせいですわい。わたしが、あん時、ビーば見つけてさえおったら、本部に報告してさえおったら、助かったかもしれんとですよ、長崎は。……稲佐の高射砲は以前、ビーば二機も射ち落したとですけんね。五分もあれば、大村から零戦も飛んできたとですけんね。

ハリー 戦争でつせ。戦争の最中に人殺したり殺されたり、こら当り前や。……原子爆弾かておんなじだす。大けなやつ何発分かまとめて落したのとちつともかわらしまへん。それがいやなら、はじめつから戦争せなええのとちがいまつか。……それに、もし原爆わるいいうのやつたら、そら、落したほうがわるいんで、落されたほうやおまへん。……だつしゃろ。……もし犯人やいうのやつたら、そら、あんさんやのうて、アメリカや。アメリカのパイロットや。

クリス Yes……アメリカです。アメリカのパイロットです。わたしです。

ハリー ほら、な。……本人がそういうてますのやさかい、まちがにおまへん。

クリス わたしです。わたしが犯人です。広島と長崎、何十万の人死にました。わたしの責任です。わたし、罪人です。

六平太 そりやちがうです。ああたはよか人です。人ば殺しきる人じゃありません。たとえ、そげんだとしても、わたしの責任はのうなりまつせん。

クリス わたし、わるい人です。犯罪した人です。だから、アメリカでそういいました。……だれも本気にしない。原爆のおかげで戦争勝った。アメリカの青年、たくさん死なずにすんだ。きみ、英雄。勲章もつてる。……戦争中の行為、個人、責任ない。

ハリー そらそやわ。常識ですわ。

クリス わたし、そう思わない。……広島と長崎、人たくさん死んだ。それ、たしかに悲しい。でも、もつと悲しいこと、アメリカ人、いや、世界中の人、自分で自分の墓掘つてること気がつかない。……わたし、気がついた。だからそういった。みんな笑った。わたし、決心した。ようし、それなら、わたしが犯罪者であること、わたし自分で証明する。……わたし、強盗やった。……でも、無罪。また、やる。また、無罪。また、やる。また、無

罪。そして、精神病院。……それ、なぜ。……簡単。……わたしが犯罪者であること認めれば、アメリカのしたことにも犯罪になる。だから、アメリカの社会、わたしの有罪決して認めない。……しかし、人間、だれでも、罰をうける権利あります。

ハリー 義務でいうて、……罰をうける、権利でつか。

クリス そうです。だから、わたし長崎に来ました。長崎、むかしから罪を背負った人たくさん殺された。わたし、罰をうけたい。わたしに罰をください。祝さん、わたしに罰をください。

六平太 罰をほしかとはわたしです。ストンさん。わたしや、まっまっとな罰ばうけにやならんとです。眼の不自由かぐらい、何ですか。一日一つの提灯張りが何ですか。わたしや、まっまっとな罰ばうけにやならんとです。

クリス だれもわたしを責めない。あなたも、ばばしやまも、あぐりさんも、だれもわたしを責めない。わたし、悲しい。……なぜ、責めない。なぜ、わたしを責めないのですか。

六平太 長崎は地獄にしたとは、わたしのせいです。

クリス ちがいます。わたしの責任です。

六平太 そうじゃなか。わたしです。

クリス ちがいます。わたしです。

六平太 わたしです、ストンさん。

クリス いや、わたしです。

ハリー 待ちいな。……わたの責任や、いや、わたの責任やいうて、あほらし、二人とも、大統領か天皇陛下にでもならはったつもりでつか。……そやおまへん。……戦争の時にどないな悪事はたらいても、その責任肩がわりしてくれるのが国だす。国家だす。そのために、わたら税金ようけ納めよるんだす。

ハリー、お話にならないといった顔で歩きまわります。

すっかり陽がおちて、提灯の白さがいよいよ自立ってきます。

ハリー You brought it, and you destroyed it……それは、主が与え給い、かつ主がこぼち給いしなり。……浦上に天主堂が建ったんも、その天主堂が灰になったんも、すべてこれ神のみこころや。……ちがいまつか、Mr. Livingstone……あんさんらが爆弾つんでデニヤンの基地出るとき、従軍牧師はんがお祈りあげはりましたな。……われら、つねに主の加護を知り、ひたぶるに主を信じて前進します。イエス・キリストの御名により、エーメン。……In the name of Jesus Christ.

夕やみのなかに、膝をかかえて坐りこんだ和平の姿がみえます。

ハリー 落すほうから祈られ、落されるほうから祈られ、イエスさんさぞ困らしたやろな、わて思います。……じたばたしたかて、人間、どうにもならしまへんのや。

筆と十善寺です。

筆 離してくださいませ。離してくださいませ。……もうせんていいよりますでつしようが。……もうせんていいよるとに、なしてこげんひどかこつばしなはりますか、刑事さん。……離してくださいませよ、この手ば。

筆の手に手錠がかかっています。みんなが二人をとりかこみます。

筆 としよりにこげんひどかこつばする法のどこにありますか、みなさん。……もうせん、もう何もせんていいよりますとに、こげん罪人のこたるこつばしてもよかとでつしようか。……みてくだはりますよ。この手。

筆、手錠のついた手をみせます。十善寺、だまってそれをはずします。和平、十善寺をつきとばし、筆の手をみます。あぐりもそばに。

ハリー としよやおまへんか、刑事はん。

十善寺 いくらとしよりでも、死んだら困りはせんかな。

ハリー 死ぬ。

十善寺 ひとしきりあばれたんでな、その崖からとびおりて死んでやるというて。

ハリー ママはん、いったい、どないしやりましたん。

筆 ……

十善寺 広島じゃよ。

ハリー 広島。……広島でまた、何を。

十善寺 平和公園のまんなかで、広島の原爆で焼けたもんだというてカワラや瓶をな。……ちようど、六日。原爆記念日で、方々から人が寄つて来とる。外人も来とる。そいつらに、法外な値で売りつけとったというんだ。……買うやつも買うやつだがな。

筆 広島には何もなかとですよ。原子爆弾の広島はみようと思つても、何も残つちやおらんとですよ。何もなかと、人間は頼りのなか気のするとです。……だけん、何でもよか、何か形のあるもんば欲しがるとです。

十善寺 しかし、ニセ物はいかん。

筆 ニセ物のどこがわるかとでつしよう。

十善寺 何。

筆 本物だからちゆうても、やつぱ、火で焼けたただのガラクタじゃなかですか。……ガラクタはガラクタですた
い、刑事さん。

十善寺 ガラクタはガラクタでも、本物を売れというとるんだな、法律は。

筆 法律がいくら本物ば売れちゆうても、長崎のどこに本物があるですか。町中さがして、どこに本物のカワラや瓶があえとるですか。……あれから二十年、だてに月日はたつちやおらんですよ、刑事さん。

十善寺 だてに月日はたつとらん。だから、もうそろそろ、店をしまつちやどうかというとるんだがな、ばあさん。

筆 ……

十善寺 あしたは長崎の記念日。しかし、こんどはもう容赦はせん。ひつくる。……いいな。
筆、すでもうあからさまです。どつかと腰をおろしています。

六平太 刑事さん。何のことかようわかりまつせんが、ばばしやまは、としよりですけん、もう……

筆 六平太。

六平太 ……

筆 あぐり。……和平。

筆のまわりに、六平太とあぐりと和平です。

筆 六平太。

六平太 はい。

筆 あぐり。

あぐり はい。

筆 和平。

和平 ……

筆 聞いとつたな。いよいよ、どんずまりたい。……よかな。……こつちに来い。六平太はよか。

筆、バラツクのほうへ向かいます。

ハリー あのう。ママはん。

筆 ごらんのとおりですたい。またにしてください。またにしてください。はらんですか、ハリーさん。

筆とあぐりと和平、おくへ消えます。

ハリー 何や、さつぱりわからしまへんな。……ほんまに、ここおかしな人ばかりや。……さつきもな、刑事はん。

ハリー、十善寺のタバコに火をつけてやります。

ハリー さつきもな……あの二人、けつたいなことい合つとりますんや。……原子爆弾おてたんは、わてのせいや、いやわてのせいやいうてな。……そやよつて、わい、いうたりましたんや。人を仰山殺したかて、その責任は国家がとる。そのための税金やおまへんか。戦争中の話だす。……そうとちがいまつか。

十善寺 ……

ハリー あんさん、兵隊はんでんな。……人さし指にタコでけてはるわ。

十善寺 ……

ハリー でもな、刑事はん。原爆おてへんかったら、戦争勝つとったかも知れまへんな、日本。……何というたかて、歩兵は日本や。……*歩兵*でも、ようけ死にましたわ、二世が。かの有名なる二四四部隊ですわ、イタリア戦線の。……在郷軍人会の会長やつとるバツキー・和歌山……わいの友だちですわ……その話をきくと、その、何でんな……四、五年前バツキーがドイツに行った時、ドイツ人がこういうたんやそうですわ。……こないだの戦争、ドイツ強かった。日本強かった。また、やる。けど、イタリヤはあかん。あいつら、じき手あげよる。そやさかい、こんどやる時、イタリヤと組むのやめにせえへんか。どや。

十善寺 ……

ハリー あんさん、笑いまへんなあ。

十善寺 国は責任とらんですよ。反対に、兵隊が国の責任をとるんですよ。とらされるんですよ。

ハリー ……

十善寺 国が犯罪をする。その責任は国はとらんですよ。その責任は、一人一人がとらされるんですよ、いつも。

ハリー へえ。

六平太 ハリーさん。……この人、スガモにはいつとんなはったとです。六年も。終身刑だったとが、日本が独立

した時の恩赦で出て来なはったとですよ、十年前。

ハリー 戦犯でつか。スガモの。

六平太 人ば殺しなはったとですよ。捕虜になったB二九の飛行士は三十三人殺しなはったとですよ。剣つき鉄砲

で。

ハリー ……

おどろくハリーです。十善寺、だまって帰って行きます。和平がおりてきて、六平太の前に立ちます。

和平 自分の世話もやききらんこととして、なして、他人の世話までやくとですか、ああはは。

六平太 ……

和平 ようか年して、母親ばはたらかせて、母親ば公園の人の足もとに坐らせて、母親にニセ物のカワラば売らせ

て……自分は極楽のごたるこつばいうて。

六平太 ……

あぐり 兄しゃん。

あぐりと筆です。

筆 ……六平太は仏様たい。もうよか。……六平太、気にせんでもよかぞ。……和平は、この十五日でクビになるもんじゃけん、すこし気の立つとるとたい。……まかせとけ。ばばしゃんが何とかする。気にするとじゃなかぞ、六平太。

新聞記者です。汗をふきながらです。

記者 やつぱり、ここでしたね、ハリーさん。さがしたんですよ、ずいぶん。

ハリー 何です。

記者 原爆孤児をぜひ娘に。……ハワイと長崎にかける美しい花輪。……ま、見出しは整理部で適当に考えるでしょうが、記事にしようと思ひましてね、あなたのこと。……やあ、こんばんは、みなさん。

ハリー わいのことですか。

記者 そうです。こんどは人違いじゃありません。……あ、人違いといえは、例のリビングストーン。パイロット。……あれ、密航らしいですね。不法入国。神戸に上陸したらいいんですが、来ませんか、まだ。

ハリー わいのこと、新聞にでつか。

記者 そう。原爆記念日にひろう明るい話題。……すこしよわいんですがね。

ハリー 何です。

記者 いやいや。……ねえ、おばあさん、何かこう、ピリツとした明るいニュースはありませんかね。心あたたまる美談。……といっても、大きなやつじゃ困るんです。……社会の片隅に咲いたささやかな善意。小さな親切。……新婚旅行のかえり、タクシーの中に忘れたフィルム、それを届けた正直運転手。……これは小さすぎるな。……もうすこし大きい親切……たとえば……

筆 大きい親切……というところ……慈悲ですたい。

記者 慈悲……まあ。

筆 ばつてん、慈悲……というところ、人を助けることじゃござりませんばい。

記者 え。

筆 慈悲ちゆうは、人ば殺すことですたい。……上人がいうとんなはるです。……今生に、いかにいとおし、いかに不便とおもえども、しよせん助けがたし。……人ば助けるちゆうことは人間にはでけません。人ば助けるちゆうことは、人ば殺してあげることですたい。それが慈悲ですたい。親切ですたい。

記者 ……

筆 あぐり。……どけ行きなはったかいな、あん人は。

そういえば、クリスの姿が見あたりません。ひとりでバラックのほうへ歩いて行きます。

3 哀の段

四月長崎花の町

八月長崎灰の町

十月カラスが死にまする

正月障子が破れはて

三月淋しい母の墓

——てまりうた・井上光晴

はぜかえる爆竹です。

赤い尾をひいて音火矢がとびます。

墓地です。

それぞれの墓に、家紋をいれた赤や黒の提灯・灯籠が何段にもかざられ、灯がともり、香煙がゆらぎ、どこか夏の祭りのあでやかさを思わせるたたずまいです。いうまでもなく、きょうは盂蘭盆の入り、有名な精霊流しの第一夜です。

とはいっても、夜が更けたのでしよつか、いまはもう爆竹や音火矢などの物音も消え、墓参の人々の姿も見当らず、ひっそりした感じます。

だれかがひくい声で歌っています。

ぼうと明るい線香花火の輪。——白い浴衣を着たあぐりです。精霊棚をかざったムシロの上で歌っているのは、筆です。

筆 ……むかしから、よか盆というのの……いまはもうないが、すぐその下のサンタ・カララ教会の跡に集まっ

て踊りよったげなたい。……旧の七月十九日がサンタ・カララ様、二十一日がサンタ・マリア様。……役人が目

ば光らしとるもんじゃけん、盆踊りにかこつけて浦上中の黒宗くろしが寄って来ての。……盆が来たとに踊らぬやつは、

イントヘルノの鬼となれ。……音頭とるならよか声出しやれ、ヨハネ様まで聞きほれる。……ばばしやんのばば

しやまが、よう歌うて聞かせよんなはった。

あぐり キリシタンだったとですか、ばばしやまの家、ずうつと。

筆 水方というてな、代々、役人にかくれてこつそり洗礼ばさずけてさらく役目の家じゃったげなたい。……浦上

の四番くずれというて、明治になってからのお仕置き時には、金沢のほうまで流されなはったげなたい。それ

でもころばんかつちちゆうけん、よつぼどの根性まがりじゃったとじゃろうのう。……ばばしやんはもうでけん。

オラシヨひとつ上げきらん。ばばしやんは宗旨がえして阿弥陀様。ナンマイダーたい。

筆、茶碗の酒をぐいとやります。あぐり、花火をやめてそばに来ます。

あぐり そげん飲みなはつてもよかですか、ばばしやま。酔^えくらいなはつても、うち知らんですよ。

筆 もう、夜中の二時。そろそろ、お精霊様のおいでたい。お精霊様もにぎやかかとかよか。……お、筆、やりよるな。……どらどら、こっちにも一杯くれ。……何かい、ことしも煮しめは人參と里芋と蓮根と竹輪かい。パツとせんのう。

筆、煮しめを口にはこび、また茶碗です。

あぐり ばばしやま。

筆ん。

あぐり うち、ばばしやまに聞きたかことのあるとです。

筆 何。

あぐり うち、ストンさんに聞かれたとです。

筆 何ば。

あぐり うちのおかしやまのこと。

筆 あぐりのおかしやまは、名前は踏絵。年は二十一。あぐりば生みおとした次の日に死んなはった。

あぐり そげんいうたとです、うちも。……ばってん。

筆 ばってん、何か。

あぐり おとしやまはだれかって。

筆 ……知ってどげんする。

あぐり 知りただけです。

筆 あぐりは、かぐや姫たい。……いつか、ばばしやんが竹ば切ろうとしたら、ほら、あすこの竹やぶ、あの竹の

中からいきなりほんぎやあというて……

あぐり おかしやま、原爆の病気だったとでつしよ。

筆ん。

あぐり おとしゃまは、アメリカ人でっしょ。

筆ん。

あぐり うち、知りたかどです。

筆 知ってどげんする。

あぐり こんやお盆です。精霊様の来なはるとでっしょ。

筆 盆。……盆じゃったのう。

筆 立ってかたわらの石像の前に行きます。首のない像です。筆、酒の茶碗をそなえます。

筆 あぐり、灯籠ばかりしてみんか。

筆 あぐりの差し出す灯籠の光で石像を眺めます。

筆 首はなし、手はなし、あつちこつちケガだらけ。地藏様にしか見えんがのう、あぐり。

あぐり ……

筆 首さえあれば、ぜったい、マリア様。わたし、その首、かならず見つけて来る。……そげんいわすとじゃがね

え、ストーンさんは。……どけ行かしたとかいな、こげんおそうまで。

あぐり ……

筆 ニセ物はでけん、本物ならよか、こんどニセ物ば売たらつかまえるぞちゆう話は聞いて、その晩、どつから

かこれば運んで来なはった。……さぞ重かつたらう、ひとりでこの山道ば。……ばばしやま、これ売ってください

い、これ本物のマリア様、これならつかまらない、たくさんお金になる、これわたしのプレゼント。……ばつて

ん、いくら本物のマリア様ちゆうても、まさかこれは売りに行くわけにもいかず、のう、あぐり。……晩飯もく

わんで、どこばさらきよるとかいな、ほんに、あのミスター・リビングストーンは。

あぐり ばばしやま。

筆ん。

あぐり うち、ハワイに行ってもよかて思うととです。

筆 ハワイ。……ミスター・ハリイか。

あぐり はい。

筆 ハワイもよかばってん、年から年中、はだかでダンスちゆうわけにはいかんぞ。

あぐり ハリーさんは、よか人です。

筆 人間はよか。……ばってん、あん人は、日本人かと思えばアメリカ、アメリカ人かと思えば日本。……どうにもわけのわからんところのあるぞい。

あぐり 日本人も、アメリカ人も、イタリヤ人も、黒んぼも……世界中の人間がごちやごちやおつて、みんなが他人で、その他人同士がいちばん具合のよかやり方でき合えばするところげなです。アメリカ。

筆 住んでみろうごとあるかい、アメリカに。

あぐり はい。

筆 どもおんなじたい、人間の住むところは。……ストンさんばみい。どうちゆうこたなかるうが、ここに住んどつても。……ん。

あぐり ……

六平太がおりに来ます。あぐりが助けます。

筆 すわれ。

六平太、すわります。

筆 どうかい、塩梅は。

六平太 爆竹の鳴りよりましたけん、フトンばかぶつて寝とりました。ばってん、もう鳴りよりまつせん。

筆 よか盆じゃの、六平太。

六平太 はい、よか盆です。

筆 月はまんまるハライソから照らす、ちゆうが……六平太にも見ゆるかい、月の。

六平太 ようは見えまつせん。ばってん、ようわかります。

筆 まああるい、まああるい、とんで行って持って来とういことなる、きれいかまんまんしゃまぞい。

六平太 月はあすこでっしょうが、ばばしゃま。

筆 ようわかるね。

六平太 ひときれも雲はかかつとらんでしよう。

筆 そうたい。

六平太 まんなかへんに、兎の見ゆるでっしょう。

筆 見ゆるよ。

六平太 まわりに、ぐるつと、輪のかかつとるでしよう。

筆 かかつとるよ、アンジェロ様の後光のごたる美しか輪のな。

六平太 なしてかしらん、以前よりかよう見ゆるとですよ、眼の。

筆 そりや、六平太が何事もようこらえて、立派に暮しよるけんたい。よかつたのい。

六平太 はい、ばばしゃまのおかげじゃろうと思つとります。

めぐり、顔をそむけています。月の話はうそなのです。

六平太 ばばしゃま。

筆 何か。

六平太 ちかごろ、ちつとも和世の夢ば見んとですよ。……もう二十年にもなるけん、わたしは忘れてしもうたと

じゃなからうかと思つて。

筆 何の、そげんこつのあるかい。和平もおる。ばばしゃんもおる。ちゃんと帰つてくるが、和世は。

六平太 帰つて来るとよかと思つとります。一年に一ぺんの盆ですけん。

筆 帰つて来る、帰つて来る。……きのうから、墓ばきれいに磨いて待つとるじゃなかな。

六平太 ばつてん、和平はなしてわたしにあげんつろうあたるとですか。……子供の時分はようなつとりました

とに、毎年毎年荒うなりよります。このごろは、わたしは仇のごつして見よります。

筆 何ばいいよるか、六平太は。親子じゃろうが、和平とは。

六平太 四、五日前あげんいわれて、よう考えてみたのですが、どうにもようのみこめんどです。なして、和平はあげんひどかこつばいうたのでつしようか。……むかしは和世と親子三人でよう笑い合っていました。向日葵のそばで湯ば使うとき、わたしが、おうい、熱かぞう、和平がヤケドするぞう……ておらぶと、和世が奥から水ば汲んで来て……

筆 六平太。

六平太 ……

筆 八月はせつなかのう。

六平太 はい、せつなかです。

筆 ぼつてん、九日のヤマはこした。あとは十五日。……盆はぼうつと来てぼうつとかえるちゆうけん、もうじきたい、八月も。……こらえるとぞ。

六平太 はい。

和平が帰って来ます。弁当箱をほうり出します。

六平太 弁当ガラばなしてほうり投げるか、和平。

いきり立つ六平太ですが、和平、横にみるだけです。

筆 六平太。そろそろ和世が来るぞ。さ、墓の前で待つとけ。……あぐり。

六平太、あぐりに手を引かれてのぼります。

筆 飲むか。

筆、和平に酒をつぎます。

筆 どげんじやった。

和平 ……

筆 仕様のなかない。……船がドックにはいつとる間の臨時じゃけん、船が出て行けば仕事はなか。それを承知の

臨時工じゃけんの。

和平 ばってん、もう五年ぞな。本工にしてやる、してやるちゅうて、もう五年ぞな。

筆 泣き言はいわん。

和平 組合のほうも、臨時の問題は会社とそげん話になつとるとじゃけんちゅうて、とり合うてくれはせん。臨時だけの組合ばつくるていうと、そりや具合いのわるかちゅう。……第三ドックにや、しばらく船はいらんちゅうとに。

筆 酒のはいった瓶は割る、へさきの玉ん中からパツと鳩のとび立つ、楽隊がラッパば吹く、旗は立てた船のするするつとすべつて行く。……ポウ、ポウ、ポウ。……汗水ながした船は出て行く。本人はやけ焼酎でもくろうてひっくり返つとる。……仕様のなかちゅうても、やつば、せつなかのう、和平。

和平 おれはクビ。ばばしやまもあれから何もしとらん。きょうもろうた手当の切れたら、いよいよ食い上げぞな。筆 何とかする。何とかするわい。何とかして来たどじやろうが、これまでも。

和平 なるじやろうかの、何とか。

和平、ごろりとなります。

和平 おれ……ぬすとにでもなつてみようかと思つとるとじゃが、でけんかの、ばばしやま。

筆 ぬすと。……ぬすとになつて何ばする。

和平 何ばする、て、決まつとろうが、ぬすとのすることは。

筆 でくるかの、和平に。……商売ちゅうは、はたからみるごと柔うはなかけん。

和平 そんな気になれば、おれにもでくるとじやなからうかて、きょう一日そればかり考えとつた。

筆 ばかが。

和平 ばってん、世の中にはおかしなやつのおる。

筆 何かい。

和平 原爆資料館に強盗のはいつたげなたい。

筆 資料館に……いつ。

和平 こんや。

筆 何ばとったとか。

和平 金じゃなかげな。陳列してある物ばげな。

筆 陳列してある、何ば。

和平 何かわからん。いま調べとるげなたい。

筆 どげんやつかい。

和平 それもようわからん。……ゴソゴソ音のするけん、当直が懐中電灯ばもって行つてみたら、いきなりうしろから首ば。……浴衣ば着とったげなたい。

筆 浴衣。

和平 プロレスのごたる大男じゃったげな。ばつてん、その当直ちゅうとが気の小さかやつで、いつも話がふとかもんじゃけん、だあれも信用せん。プロレスが浴衣着て、よる夜中にケロイド見物に来るか、ばかが、ちゅうてな。……盆じゃけん、幽霊でも見たとじやろ、町じゃそげんいいよるたい。

筆 ……

あぐりがおりて来ます。和平、線香花火をつけ、じっと手もとを見えています。そして、だまつて立ちあがり、バ拉克に向かいます。ついでに行こうとするあぐりを、筆がよびとめます。

筆 あぐり。

あぐり はい。

筆 あぐりは、いくつになつたとかいの、ことしで。

あぐり 誕生が来て、十九です。

筆 十九。

あぐり どげんしたとですか。

筆 すきか、和平を。

めぐり ……

筆 すきなら、一緒になってもよかとぞ、和平と。

めぐり ……

めぐり、だまつて行ってしまいます。

筆、ひとり茶碗をかたむけます。歌をうたっているようです。——と、どこからあたりをはばかる声がします。

クリス ばばしやま。……ばばしやま。

クリスがそつと出て来ます。白い浴衣を着て、小脇に何かをかかえています。

クリス 首。……首。

クリス、いそいそと包をあけます。マリアの首です。

クリス あちこち、ずいぶん探した。……なかなかない。……でも、やっとあつた。……これ、マリア。本物。

筆 ……

クリス 顔、すこしケガがある。でも、これ、いちばんケガがすくない。……あれにのせる。きつとうまくいく。

……やってみる。

クリス、石像に首をのせます。聖母マリアです。顔の一部がそぎおとされているせいもあるのでしょう、胴体の

ポーズとあいまって、不思議な魅力を生んでいます。クリス、おもわず十字を切ります。

筆 ミスター・リビングストーン。

クリス ……

クリス、石像をいつくしんでいます。

筆 ストンさん。

クリス はい。

筆 ここに来て、坐んなはい。

クリス、ムシロの上にすわります。

筆 ごくろうさんじゃったな。

クリス わたしの贈り物。これなら、Police文句いわない。でも、売るのが、すこしおしい。

筆 ストンさん。

クリス はい。

筆 ポリスは文句いわんじやろうかな。

クリス なぜ。

筆 よその物ばかつぱろうて来ても、ポリスは文句いわんじやろうかな。

クリス ……

筆 人の首ばしめても、文句はいわんじやろうかな。

クリス ……

筆 ストンさん。

クリス はい。

筆 ああ、これでもう何回目かい、強盗は。

クリス ……

クリス、意味がわかります。立ち上って、歩きます。

筆 ああ、うちの六平太とエトまでおんなじ。……だけん、ちゅうわけでもないが、わたしにや、ああたのこ

つが、背中のどこにアザのあるかまでようわかる気をする。……なして日本に来なはったか。なして長崎に来な

はったか。何ば考えておんなはるか。

クリス ……

筆 ばってん、人間、何でもわかってしもうたら話つまらん。わかってしまうもんでもなか。……だけん、わた

しや、こんや、ああたにもは聞く。

クリス ……

筆 ストンさん。……ああた、なして、強盗ばしなはった。

クリス ……

筆 アメリカでの話たい。……ああた、なして八回も強盗ばしなはった。

クリス 何度もいきました。……わたし、わるい人です。犯罪した人です。America, Atomic-bomb おとした。それ、犯罪。そして、それ、わたしの犯罪。……わたし、America でそういった。でも、だれも認めない。

筆 強盗ならだれがみても罪人て思うだろう。だけん、ピストルばもって、胸には勲章ばつけて、押し入んなはった。

クリス そうです。

筆 それが一回目。……二回目は。

クリス Police わたしを逮捕しない。警察署長、わたしにいった。Mr. Livingstone あなたがこんなに冗談すきとは知らなかった。こんどの土曜日、うちにいらっしやい。Poker でもやりまじよう。

筆 三回目は。

クリス 警察署長、いった。Mr. Livingstone 冗談のすきな人たちがたくさんいる病院知ってる。紹介しましょう。……わたし、そこはいった。

筆 四回目。

クリス やつと、裁判うけた。でも、病院の院長、証言した。うちの患者、犯罪能力ない。それに、きちがいの病
気、法律なおせない。……無罪。……弁護士、わたしにいった。わたし、あなたの弁護やめる。なぜなら、あな
た有罪になりたい、それ、検事の仕事。弁護士の仕事ではない。……そして、小さな声で教えた。ほんとうは、
検事もだめ。Washington から連絡が来ている。

筆 五回目。

クリス 前とおなじです。

筆 六回目。

クリス おなじです。

筆 七回目。

クリス おなじ。

筆 ……八回目は。

クリス ……

あぐりがおりに来ます。

筆 ……何かい。

あぐり 気にせんでもよかどでつしようけど……灯籠の一つ多かどです。

筆 ん。

あぐり 墓の灯籠は数えたら、去年よりか一つ多かどです。赤か灯籠の一つふえとるとです。……よかどでつしようか。

うか。

筆 あぐり。

あぐり はい。

筆 いま、ストーンさんと話ばしよるけん、あっちに行つといてくれんか。

あぐり はい。

あぐり、もどります。

筆 それで……来なはつたというわけじやな、日本に。

クリス そうです。……わたし、どうしてもわたしの犯罪、証明したい。Americaだめ。だから、日本に来た。

わたし、日本の人から罰うけたい。罰ほしい。たくさん、たくさん罰ほしい。……でも、だめ。……日本の人、

みんなやさしい。ばばしやまも、Mr. Iwaiも、あぐりさんも、みんなみんないい人。……わたしの罪、関心な

い。わたしの罪、認めてくれない。わたしを責めない。何にもいわない。何にもいわずに、わたしを許している。

……わたし、それ、とてもつらい。

筆 ストンさん。

クリス ……

筆 だあれもあたば責めん、何にもいわんであたば許しとる……そげんいいなはるか。

クリス そうです。

筆 ストンさん。……だあれも、あたば許しちやおらんぞな。

クリス Eh?

筆 だあれもまだ、あたば勘忍してやるというちやおらんぞな。

クリス ……

筆 のぼせるな、この餓鬼。

筆 一喝するや、立ちあがります。

筆 四十面ぶらさげて人に甘えるとも、いい加減にしておうたい。……だあれも責めてくれん、だあれも何にもいわん、それがつろうしてかなわん、ちゆうは何ていい草かい。……だあれも何にもいわんとは、人があたば許しとるからじゃなか。人間には人間ば許してやるこたでけん。人間にはそげん力はなか。そのための神様たい。仏様たい。……八百屋お七ちゆうて、むかし、東京中ば焼野が原にしてしもうた娘のおった。たった十四たい。町中ば引きまわされて火あぶりにされた。つけ火しただけで、はりつけにされて、火あぶりたい。……それにくらべたら、ああたのうけにやならんお仕置きは火あぶりぐらいじゃとてもすむまい。……ああたはそれに気がついた。……強盗ちゆうはよか考えじやった。だれもは考えつかん妙案じやったて思う。……ばってん、よかつたとは一回目だけたい。……なして。……決まつとろうが。……一回目は目的ちゆうもんがあつた。ばってん、八回目はもう癖たい。強盗だけが目的たい。……ああたは、さまようとうたい。することのうなつて、行くところのうなつて、この長崎にまでさまようて来たとうたい。幽霊たい。成仏しそのうてうろろしてまわる幽霊たい。それがああたの罰たい。

筆、笑います。クリス、息をのんだままです。

筆 ストンさん。……アメリカじゃどぎやん恰好して出るとか知らんが、柳の下から、両手ばぶらんとさせて、ヒュードドロロちゆうて出るとが幽霊じゃなかない。長崎にはそげん幽霊は出ん。長崎には、生きた幽霊が出るたい。……よかですか、ストンさん。死人がおとろしかとは、動くはずの人間が動かんけんたい。幽霊がおとろしかとは、動かんはずの人間が動くけんたい。……それとおんなじでの、ストンさん。……美しかおなごが眼もあてられんごと見にくかつたり、反対に、見にくかははずのおなごがひどう美しかつたり……それが幽霊たい。……見たかですか、幽霊の。……見たかなら、見せて上げまつしうか。……いんね。ああたは見にやでけんとですよ、幽霊ば。……あぐり。

筆のひと声です。筆、あぐりの肩をだきます。

筆 ストンさん。……わたしがいままでに売りつけたカワラや瓶のカケラは全部アメリカ人ですたい。ああたもアメリカ人。……ひとつ買うてくだはりますか、ストンさん。

クリス ……

筆 本物のマリアですたい。……右や木じゃござりまつせん。生きたマリア様ですたい。……これですたい。

筆、あぐりをつきとばします。

筆 さあ、だきなはい。……さあ、はよう、体中の骨がバシバシ折れるごときつうだいてキッスなはい。……何ばぐずぐずしよりますか。……ああたの娘じゃなですか、ストンさん。

筆、あぐりをもう一度つきとばします。クリス、あぐりをうけとめ、そのままつよぐだきしめます。

——静かなコーラスです。GIソング《GOMENNASAI》です。

ゴメンナサイ

I'm so sorry

ゴメンナサイ

I'm so sorry I made you cry

Won't you forgive me, dear?

.....

あべりが急に笑い声をあげ、身をくねらせてクリスから離れます。

クリス あべり。

クリス、あとを追いますが、見えません。立ちどまったクリス、ふと、ふりかえります。と、暗がりのなかにこちらをむいた数人の売春婦たちが立っています。コーラスは彼女たちなのです。

Nights have been lonely, my days are blue

Because I made a fool of you,

Won't you forgive me, dear?

コメンナサイ

.....

クリス、ゆっくりと彼女たちに近づきます。

売春婦 1 Hello, Joe!

売春婦 2 Good evening, Joe!

売春婦 3 I love you so much, Joe!

売春婦 4 Love me Joe!

やさしい、家庭的ですらあるほどのよびかけです。

売春婦 1 こんにちは。

売春婦 2 遊うてくださいませ。

売春婦 3 遊うてくださいませ。

売春婦 4 遊うてくださいませな、兵隊さん。

クリス、一人一人の顔をのぞきこむようにしています。が、道ばたにしゃがみこんだもう一人の売春婦を見つけ

ます。

クリス Oh, Francis!

フランススです。立ちあがります。かげろうのように美しい娘です。クリス、だきあげます。絵にかいたようにきれいな接吻です。

コーラスが聞えます。

声がします。ジャクリーヌです。

ジャクリーヌ クリス……クリス。

ジャクリーヌが揺り椅子にかけて、ほほえんでいます。ブロンドです。クリス、フランススをおろし、そちらに近よります。かがみこんで、かるい接吻です。

ジャクリーヌ 戦争、おわたったのね、クリス。

クリス ……

ジャクリーヌ ナガサキですつて。……どう、ニッポン。……すてき。

クリス ……

ジャクリーヌ あなたがお帰りになったら、結婚ね、あたしたち。……待つてるわ、みんな。……。パパとママ、お兄さんのフランク、あたしの弟のロベールも。……そして、テキサスはいま忍冬がとってもきれい。

クリス、離れようと思います。

ジャクリーヌ クリス。

クリス ……

ジャクリーヌ 愛してるわ。クリス。

ジャクリーヌの姿が消えます。と、とつぜん、笑い声です。さきほどのあぐりのそれとおなじです。そそるような女の声です。が、姿は見えません。クリス、見まわします。

あぐり ……です。

楠の木のかげにあぐりです。が。近づいてみると、だれもいません。

あぐり ヒーです。

マリア像のそばにあぐりです。が、だれもいません。

あぐり ヒーです。

こんどは小屋のかげです。クリス、近づいてみると、フランシスです。

クリス Francis!

クリス、フランシスをかかえます。そして、寝室にはいります。ベッドの上に聖母の複製画がはつてあるだけの、簡素な小部屋です。クリス、フランシスをベッドに横たえると、手の甲にくちびるをつけます。——彼女たちが現われて、ソングを歌います。

ゴメンナサイ。

Nights would be heaven

Love fill my days

If you'd believe me

When I say I love you.

ゴメンナサイ

.....

フランシスの部屋。ベッドの上に、はだかのクリス。フランシスは小さな鏡の前です。

クリス こんなことを聞いてもいいかい、フランシス。

フランシス

クリス むろん、いやだったら答えなくてもいい。

フランシス

クリス というのはだね、フランシス。……ぼく、この一週間で君のことずいぶん知ったつもりだけど、君の家族

……つまり、君のパパやママ、それに兄弟たちのこと何にも知らない。……だろう。……知りたいんだ、ぼく。
フランシス ……

クリス 君とても美しい。そして、やさしい。だから、ぼく考える。……君のパパとママ、すばらしい couple。
そして、とても愛し合っていた。だから、君美しい。……そのパパやママ、どこ。……元気。……それとも……
たぶんそうじゃないと思うけど……

フランシス、だまって衝立てのかけにはいります。

フランシス どうしてもお帰りになるとですか、あした。

クリス そう。ぼくの休暇きょうで終った。でも、きつとまたナガサキへ来る。ちかう。

フランシス いつでもですか、またつて。

クリス できるだけはやく。

フランシス なにしに。

クリス なにしに。……何をいうんだ、フランシス。君に会いにぎ。

フランシスのふくんだような笑いです。

クリス フランシス、君はぼくを信じないのかい。ぼくはだね、フランシス……

クリス、そばに寄ります。

フランシス いけません。

クリス またいったね。君、いつもいう。いけません。……なぜ。

フランシス いけません。

クリス 君、いつもそう。……でも、なぜ。……ぼく、君を愛している。君もそう。そして、ぼくたち、しばらく
会えない。だのに、なぜ。

フランシス あ、いけません。だめです。……だめ……だめ……だめ……

クリスが衝立てのかけにはいったのです。フランシスの抵抗する声、やがてやみます。ややあって、クリスが出

てきます。衝撃をうけた表情で棒立ちです。

クリス ……フランスス。

鼓の音がポンとたたく鳴ります。つづいて、謡曲（安達原）。そして、般若の面をつけた鬼女、実はフランススが衝立てのかけから現われて、逃れゆくクリスを追います。

どこからか、女の笑い声が聞えます。さきほどからの、そそるような女の声です。クリス、声のほうをふりむきます。楠の木のかげにあぐりです。

クリス あぐり。

クリス、ほっとした表情でかけよります。が、どうしたのかだれもいません。そして、こんどはマリア像のかけからです。

クリス あぐり。

小屋のかけです。クリス、そこでやつとあぐりをとらえます、が、顔をみると、フランススです。クリス、後ずさります。と、すぐ眼の前に売春婦たちです。

ゴメンナサイ

I'm so sorry

ゴメンナサイ

I'm so sorry, I made you cry

ゴメンナサイ

……………

クリス、彼女たちからのがれようとしています。

クリス あぐり。

と、その前方に、揺り椅子にゆられてほほえみかけているジャクリーヌです。

そして、もう一度笑い声。見ると、楠の木のかげにあぐりがいます。かくれます。

クリス あぐり。

クリス、ようやくつかまえます。が、ふりむいた顔は、般若です。でも、あかるい笑い声をあげながら、面をはずした顔はあぐりです。

あぐり たまげなはったでしよ。……これ、もろうたとです、ハリーさんに。
クリス ……フラシシス。

クリス、あぐりをだきしめます。

もとの墓地なのです。どこに行ったのか、筆の姿はありません。

その時です。何かはげしくいい争う声でしたかと思つと、六平太が壺のようなものをかかえて、転ぶようにおりてきます。そのあとから和平です。

六平太 売らせん。決して売らせん。決して売らせんぞ、この骨は。……よう聞いてくだはりまつせ。……こやつは、いうとです。母親の墓はひつくりかえして、母親の骨ば人に売るていうとです。ドンにやられた正真正銘の本物は、母親の骨しかなか。……この骨はおれがひろうた。この骨は、四つの時おれが弁当ガラに入れてもつてかえつた。だけん、おれのもんたい。だけん、おれが売る。そげんいうとですよ。……売らせまつせん。この骨は和世の骨です。決して売らせまつせん。……いいえ、離しまつせん。この骨は和世です。……決して離さんぞ、和世。……和世。

六平太。骨壺をだいてうづくまります。泣いているのです。茫然としてその様を見つめるみんなです。どこからか、筆の和讃が聞えて来るのです。

4 楽の段

煩惱具足の身をもて、すでにまごりをひらくといふこと、この條もてのほかのことにならぶ。

— 歎異抄・十五

チャンコン、チャンコン、ドーイ、ドーイ……という掛け声が、にぎやかなしい鉦の音にまじって聞えます。祭り装束の若者たちが、歌をうたいながらはやしているのです。

墓地です。

飾りかけの精霊船がすえてあります。

若者たちが、そここの墓から赤や黒の灯籠をはずしては船にとりつけています。やがてもう、満艦飾です。

ここは長崎北のはて

人里はなれた山の上

山は稲佐に風頭

パツと咲いたる白い雲

天主堂にはマリア様

お寺の本堂にや阿弥陀様

どうぞ助けて下さいな

苦しい時の神のみ

聖母マリアがいうことにや
浦上じゆうが焼野原
助けてやりたいとこなれど
ごらんわたしもこの姿
.....

若者たち、歌いながら墓のかけに一人消え、二人消えして、いつの間にかいなくなってしまう。鉦の音も遠くなくなってしまう。お芝居がはじまるからです。

めぐりが、精霊船に花をかざったり、供物をそなえたりしています。タスキをかけています。

めぐり クリスさん。……何ばしとんなはるとですか、朝からずうつとそこに坐つて。……見てみなはりまつせ。
でけたですよ。精霊船。

クリス、石像の前にしゃがみこんで、ぼんやりしています。膝をかかえた脚の先にマリアの首を置き、それをじつと眺めているのです。

めぐり こんにちはきれいかですよ、長崎は。あつちこつちから何百という船がくり出して、町中が灯の海になるとですよ。……チャンコン、チャンコン、ドイー、ドイーちゆうて、あの世から帰つて来とんなはった精霊様はお送りするとです。……極楽は西のほうですけど、船の名前は……ほら、ね、書いてあるでつしよ、西方丸。……あらあ、どげんしなはつたとですか、クリスさん。

クリス、身じろぎもしません。放心しているのです。めぐり、笑いながら近づきます。

めぐり クリスさんは、自分のおくさんの顔でばしあるこつ眺めとんなはるですね、マリアの首ば。

クリス、めぐりを見ます。が、じきに眼をもどします。

めぐり 聞いてもよかですか、クリスさん。
クリス
……

あぐり　うち、クリスさんのおくさんのことは何にも知りません。……ばってん、わかった気のすこうししました。

クリス　……

あぐり　ゆうべです。

クリス　……

あぐり　ゆうべ、クリスさん、うちばとてもきつうだきなはったでしょう。……だけん、その時……ああ、クリス

さんはうちばおくさんとまちがえておんなはる、そげん……

クリス　……

クリス、顔をあげます。が、やつぱり眼をもどします。

あぐり　すみませんでした。おかしなことはきいて。……ばってん、ほんとにそげん思ってたんです。

あぐり、離れます。

六平太がおりに来ます。古ぼけたラジオをかかえています。

六平太　何時かの、もう。

あぐり　まだまだですとに。

六平太　聞きそここのうたら一大事じゃけんな。……早目に集まるごと触れてまわったか、あぐり。

あぐり　はい。

六平太　放送の一分前に、全員が整列する。一二〇〇。市役所のサイレンば合図にな。

六平太、ダイヤルの調整をはじめます。カーキー色の制服を着て帽子をかぶり、腕章までつけているのはどうい
うつもりなのでしょう。足は下駄なのです。

だれかやってきます。ハリー・平です。

ハリー　お元気でつか、みなはん。……いやあ、もう、暑うて暑うて。……おう、精霊船でんな。

ハリー、船に近よります。

ハリー 西方丸。……極楽浄土。……南無阿弥陀仏。……なるほど、ご先祖はん、これに乗って帰らはるんやな Paradise じ。……ようでけとりますわ。

ハリー、何となくよそよそしいです。

ハリー ママはん、いてはりまつか。

あぐり いま、ちよつと。

ハリー そうでつか。そら、困つたな。

あぐり 何か。

ハリー いやあ、わて、急に帰らんらんことになりましたな、Hawaii に。……そいで、まあ。

あぐり ……

ハリー 新聞、読まはりましたか。

あぐり (首をふる)

ハリー そうでつか。……実は……わて、別の娘はんもらうことになりましたな。

ハリー、あぐりに新聞をわたします。

ハリー Hawaii からは、その……いつまで日本にうろついとるんや、早く帰つて来いいうてくるし、市役所では

これなら太鼓判やいう娘はん世話するいうし……まあ、決めたんですわ。……こんやの汽車だす。

あぐり、新聞をたたみます。

ハリー くらべたりしたら失礼や思いますけど、そらあ、あぐりはんよりええ人いまへん。わてが若かったら、嫁はんにもらいたいくらいですわ。……そらまあ、そうなんですけどやな……いや、いや……あぐりはんのママさん、原爆症で死なはったからいうのやおまへん。……そら、原爆症かもしれん。けど、かもしれんいうだけで、証拠は何もおまへん。だつしやる。

あぐり ……

クリス ……証拠、ある。

ハリー え。

クリス 証拠あります。

クリス、半眼をひらいたまま、ぼそりといいます。

ハリー ほなら、やつぱり。

クリス そうです。

ハリー けんど、あんさん、どないして。

クリス わたし、見ました。……あぐりの母親、背中、ケロイドです。

あぐり ……

ハリー けどな、あぐりはん。……わて、そないなこと気にしたんところがいます。それよか、あんさんのその美し

さ、その美しさがわてにはどうも……

クリス そうです。あぐりは混血です。

あぐり ……

ハリー やつぱり。

クリス あぐりの父親、Americanです。

あぐり ……

あぐり、顔をおおい、逃げるようにかけ去ります。

ハリー そうでつか。……ええ娘やのになあ。……けど、あんさん……

といいかけましたが、クリスの表情に気押されてやめ、六平太のそばに行きます。

ハリー 祝はん。……わて失礼します。

六平太 ……

ハリー ママはん帰らしたら、よろしゅう。

六平太 ……

ハリー そいから……これ、あぐりはんに。……マリア観音だす。

六平太 ……

六平太 ラジオに熱中して、返事もしません。ハリー、観音像を置き、立ち去ろうとして、コードに気がつきま
す。つながっていないのです。ハリー、コードを手にして何かいおうとしますが、やめて、山をおります。蟬し
ぐれです。

ふりかえりながら、和平が帰ってきます。そのまま上に行きます。

その時、ふらふらと立ち上ったクリスがこちらへ来ます。マリアの首をかかえています。六平太が気づきます。
六平太 どけ行きなはるとですか。

クリス ……

六平太 もうじき、放送のはじまるとです。ここにいてくだはりまつせよ、ストンさん。

クリス 祝さん。

六平太 ……

クリス わたし、やっとわかりました。……フランスを殺したのは、わたしです。そして、フランスはあぐり
のおかあさんです。踏絵さんです。……わたし、フランスと踏絵さん、殺しました。わたし、二人を、爆弾と
わたしの心、この二つで、殺しました。……そして、死んだのはマリアです。……ごらんなさい、このマリアで
す。

六平太 ……

クリス あぐりはわたしの娘です。あぐり、たくさんの罪背負っている。だから、美しい。わたし、それ、こわい。
……フランスがわたしを責めたように、あぐりもきつとわたしを責める。……残酷ではなく、美しく、そし
てやさしく責める。……それ、鬼。

六平太 ……

クリス 祝さん。……わたし、日本人みんなわたしを許している、そう考えていた。日本人、わたしを許す。憎ま

ない。……たぶん、そう。……でも、あなたがた、ちがう。あなたがた、みんなでわたしを憎んでいる。責める。……それ、わたし、ばばしやまから知りました。……ばばしやま、わたしにいった。……クリス、お前死ね。死ね。……でも、わたし死なない。自分で死ぬこと、簡単。だから、それ、しない。……わたし、いままで、生きながら死んでいた。でも、これからは、それだめ。わたし死ぬ。そして、生きる。……ばばしやまがわたしにいたかったこと、その意味。

六平太 ……

クリス 祝さん。わたし、行って来ます。

六平太 どこにですか。

クリス 平和公園。銅像の下です。

六平太 何しにですか。

クリス フランシスと踏絵さん殺したの、わたしです。マリア様殺したの、わたしです。そして、あぐり、わたしの娘です。……みなさん、この首見てください。この顔、こわしたのはわたしです。この顔、資料館から盗んだの、わたしです。その人の首しめたの、わたしです。……みなさん、笑っていないで、わたしを殺してください。わたし殺されたいです。……そういうためです。

六平太 行かんてくだはりませよ、クリスさん。行ってしもうたら、わたしが困るとですよ。

クリス なぜ。

六平太 ラジオですよ。いっしょにラジオば聞くとですよ。……さ、そげん物はこつちに置いて、ここに坐つてくだはりませよ、クリスさん。

六平太、クリスの手から首をうばい、無理やり坐らせませよ。

六平太 八月の十五日には、毎年こげんしてラジオば聞くとですよ。……十二時に市役所のサイレンが鳴るとですよ。サイレンがおわると、いよいよ放送です。ラジオがピーピーいうて、それがおさまると、アナウンサーが、ええ、国民の皆様……アナウンサーですけん、ええ、とはいいまっせんが……皆様、ただいまから陛下の重大放

送がありますからそのままお聞きください、こげんいますとです。……そうすると、わたしたち国民がですね……ラジオの前にきちんと整列ばして……よかですか……気をつけばしてですね、頭ばこげんふうに下げてですね……聞くとですよ、陛下の放送ば。

クリス ……

六平太　すると、陛下がいいなはるとです。……残念ながら、日本は原子爆弾にうち負けてしもうた。残念至極である。……それば天皇陛下のことばでいいなはるとです。……そして……爾臣民のつらか気持はようわかる、ばつてん、堪えがたきば堪え、忍びがたきば忍んでくれ。そしたら、そのうち世界中が平和になる。そんな時までどうかこらえてくれ。わしもこらえるけん、爾臣民もこらえてくれ。そげんいいなはるとです。……もつたいなかじゃなかですか。アナウンサーでもなかとに、わざわざラジオに出てしゃべんなはるとですよ、陛下が。

クリス ……

六平太　泣きましたよ、ストーンさん。……陛下、申しわけござりまつせん。わたしがわるかとです。わたしがやりそのうたとです。勘忍してくださいまつせ。祝六平太は大事の瀬戸際で不始末ばしてしまいました。何ちゆうてお詫びしてよかかわかりまつせん。……ばつてん、祝はこらえます。陛下がもうよかていいなはる時まで、祝はこらえます。こらえて、こらえて、こらえぬいてみせます。……そげんいうて、男泣きに泣いたとです。涙のやつが、あほのこつ流れたとです。

クリス ……

和平がおりに来ています。離れた所から様子を眺めています。

六平太　二十年間、わたしや、なあんもせんで一心にこらえて来たとです。……町にも出ず、人にも会わず、陛下のおことばひとつを頼りにこらえて来たとです。二十年間、なあんもせんでですよ、ストーンさん。

クリス　Do nothing……for twenty years.

六平太　そうですたい。二十年間、なあんもせんでですたい。

クリス　Do nothing……do nothing.

六平太 ぼってん、八月はほんにつらかです。ことしの夏はまた、どうしたわけでっしょう、いちだんとつらかごつあります。……ぼってん、もうじき放送のはじまります。毎年、十五日になって陛下の放送ば聞くと、わたしやシヤンとするとです。……陛下がいいなはります。わしがいうたとおりちゃんところえとるか、祝六平太。すると、わたしがお答えするとです。はい、陛下、祝はこらえとります。一生懸命こらえとります。……そうすると、こんどは陛下がですね、ストンさん……

和平 いい加減にせんですか、みつともなか。

和平、近づくや、いきなり受信機をほうりなげます。

六平太 何ばするか。和平。

六平太、転がった受信機をおろおるときがし、しつかとだきかかえます。

和平 ありもせん空事ば、ようまたあきもせん、毎年、毎年。

六平太 空事じゃなかぞ。ちゃんと聞えとるぞ、陛下の声が。……ストンさん、あやつのいうこつば本気にせんでくだはりまつせ。ラジオの話は空事じゃなかです。……陛下はたしかにいいなはったとです。こらえるだけこらえろ、そしたら世界が平和になる。……だけん、わたしや、じつところえたとです。二十年。

和平 こらえる、こらえるて、いったいいつまでこらえるつもりですか、ああたは。

六平太 陛下が、六平太、もうよか。もう、こらえんでもよかていいなはる時までたい。そぎゃんこつもわからんとかい、この親不孝者が。

和平 だけん、それはいつかて聞いとるとですたい。

六平太 世界中が、世界中の世の中が平和になった時たい。

和平 世の中が平和になったら、もうよかていいなはるとですか。

六平太 そう、そげんいいなはった。

和平 世の中は、まだ平和じゃなかっていうとですか。

六平太 陛下はまだ、もうよかてはいうておんなはらん。平和になつたらん証拠たい。

和平 世の中はとつくのむかし平和たい。どげんしようもなかごつ平和たい。ため息の出ろうごつ平和たい。平和だけん、天皇陛下は相撲見物たい。暇さえあればミジンコすくいたい。……ああたには、それが見えんとですか。

六平太 見えん。見えん。平和には決して見えん。

和平 そんなら、ことしになって、なしてばばしやんはカワラば売っちゃでけんていわれたとですか。平和公園で二十年も売つて来たとに、なしてもうでけんとですか。……また、なしてばばしやんは、ニセ物しか売られんことなつたとですか。なして本物のカワラはのうなつたとですか。……平和になつたからですたい。原爆は思い出させる物の邪魔になつて来たからですたい。……それがわからんとですか、ああは。

六平太 こらえとります。こらえとります。

和平 そればかりいうて、何もせんで、二十年。……ぼつてん、いくら待つても、もうこらえんでもよかちゆう命令は来はせんですよ、決して。

六平太 こらえとります。こらえとります。

六平太、ラジオにしがみつきます。

和平 この家もおしまいたい。……ああもだめ。ばばしやんもだめ、そして、おれもクビ。……知つとるですか、おれがクビになつたとは。……ドックば守れ、ドックば守れちゆうて、ああが一生懸命守つてくれたドックばクビになつたとですよ、おととい。

六平太 ……

和平 ああが、なしてめくらになつたか、いうてみまっしうか。……望遠鏡で太陽が見れば、めくらになるとわかつとりながら、ああは、なして望遠鏡は見ようてしたか。……他の者は何でもなかつたに、なして、ああだけがめくらになつたか。

六平太、急にふりむきます。

六平太 いうな。……いうな、和平。

六平太、たかぶっています。

和平 それから、二十年もなしてこげん山の中のハカワラにこもつとるか、それもいいまっしょうか。

六平太 いうな、和平。

和平 いいとうはなか。ばってん、いう。

六平太 こらえとります。こらえとります。

和平 ああは、監視哨の哨長になつた。うれしかった。だけん、人いちばい気ばつた。人いちばい太陽は見た。

……なしてか。……なして、うれしかったか。……なして人いちばい気ばつたか。……戦争がおわつたとに、なして山ん中にこもつとるか。なして、町には一歩も出ようとせんか。

六平太、うづくまつてしまいます。

和平 ああは、だれにも見られんごつ腹ん中になにかばじつとかくしとる。……何のかんの、理屈はいう。ばつ

てん、元をたぐればそればかりか一心たい。ばってん、ああは、思いきつて人にいわにやでけんとです、

おれは……おれは……

六平太 ……

和平 こらえたらでけん。こらえとるとがいちばんのまちがい。こらえたらでけんとです。……ああがめくらに

なつたとは、ほんとは、ラジオば聞いて、ラジオの文句ばぐのみにして、ラジオの前で涙は流した時からですけんな。

六平太 ……

和平 家はもうおしまいですたい。……ばばしやんはもう、帰つては来んかもしれん。

六平太 ……

和平 ああは知らんでつししよう。……ばばしやんは、原爆症たい。

六平太、和平の顔を見ます。

和平 ゆうべ、ばばしやんの部屋で被爆者手帖ば見つけたとですよ。きようみたら、なか。だけん、朝から病院ば

一軒一軒まわってみた。……どこにもおんなはらんですよ。……だちゆうとに、ああは、よかご機嫌で鳴りもせんラジオばいじくりまわして……

和平、泣いています。すると、何を思ったか、六平太、段をかけあがって行きます。骨壺をかかえておりて来ます。

クリス あなた、どこ行きます。

六平太 売りに行くのです。和世の骨ば売ってくるのです。

クリス それ、いけない。

六平太 ストンさん、ああたもそのマリアの首ば売りに行こうとしなはった。売らにやでけんのです。売ってしまわにやでけんのです。こげん物にしがみついとつたらいけんのです、わたしたちや。

クリス 祝さん。あなた、二十年こらえて来た。その間、何にもしない。……Do nothing……でも、あなたのこと、無意味のことでない。……Do nothing……あなた、何もしなかったのところがう。あなた、何にもなら

ないことをした、してきた。あなた、した。こらえたこと、意味あった。わたし、それわかった。

六平太 わたしもわかったのです。一生懸命こらえて来たことが、屁のごたるもんだちゆうことがわかったのです。わかった気のするのです。……眼の見えて来ました。ようやく、眼の見ゆることなつたのです。……行って来ます。

クリス あ、待って。

六平太、ふりきって行こうとします。が、そのとたん、物につまづいて転びます。そして、壺をさがそうとします。はいずりまわります。が、壺は見つかりません。六平太、そつと眼の前に手のひらをひろげてみます。かすかに笑います。完全に失明したのです。

六平太 世の中ちゆうは、こげんもんでつしょうか。……見えたと思うたら、いきなり見えんごつなつてしもうて。

……たつたいままで、白か羽根のついた帽子ばかぶつて、サーベルつって、馬に乗つて、敬礼ばしとんなはつた陛下のお姿が、いまは、もう、見えん。……まあつくら……まあつくら……まあつくら……まあつくら……

六平太、あたりを見まわします。いままでの様子とちがって、尋常なのです。

六平太 二十年。……相撲見物はよかです。ミシンコすくいもよかです。ばってん、それならそれで、もうよか、祝六平太、もうこらえんでもよか……何かひとこと、いうてもらいたかった気のするです。陛下。

六平太、クリスのほうを向きます。

六平太 ストンさん。

クリス ……

六平太 あの日、東南東からああたははいつて来なはった。高度は一万。二度目の時ですけん、十一時五分前。

クリス ……

六平太 わたしは、ああたば肉眼で見たとです。……ばってん、もう一度こんどは望遠鏡で見ようと思ったら、もうだめでした。……まあつくら、まあつくらで、ハラワタのごたる赤か点の一つ。……それからすぐでしつたたい、シャツという音のして、世界が真白になったとは。……わたしには、ああたは見えまつせんでした。わたしが見たとは、シャツというスパークだけです。

クリス ……

六平太 爆弾ばおとしたとはだれか。犯人はだれか。……ああたは、自分が犯人ていいなはるばってん、わたしはああたの姿もああたの飛行機も見ちやおらんです。……そんなら、だれがおとしたか。アメリカですたい。……ばってん、アメリカのだけですか。……ああたの隊長ですか。ちがう。隊長の隊長ですか。ちがう。……そのまた上官の上官ですか。大統領ですか。ちがう。……だあれもおらんとですよ、犯人は。……あの日、わたしは、何も見んかつたとです。原子爆弾は見えんとです。原子爆弾は眼で見えるもんじやなかとです。眼に見ゆるもんが、爆弾じやなかとです。

クリス ……

六平太 ばってん、爆弾はあります。次から次にふえよります。だれかがつくりよるにちがいなかとです。……だれでしつしようか。……ストンさん。

クリス ……

六平太 ストンさん。 ……わたしは、あなたば殺します。 ……申しわけありませんばってん、あなた、死んでく
だはりまつせ。殺されてくだはりまつせ。 ……それしかなかとです。

六平太、鈍をひろいます。

六平太 おわかりでつしよ。 ……あなたは、イエスさんですたい。キリストですたい。イエス・キリストですたい。
 ……ちゆうても、残念ながら、あなたは弁が立ちなはらん。理屈が立ちなはらん。 ……ばってん、弁は立たんで
も、説法はでけんでも、キリストになる法がひとつあります。 ……死んはることですたい。殺されなはること
ですたい。 ……お願いします。 ……死んでくだはりまつせ。 ……殺されてくだはりまつせ。 ……生きとるかぎり、
あなたにとつてこの世は地獄ですたい。 ……死んでくだはりまつせ。殺されてくだはりまつせ。 ……原子爆弾が
これからさき一人の人間も殺さんごつなるためには、それしかなかとです。

六平太、鈍を手に、クリスをもとめて歩みよります。 神妙な物腰であるだけに、かえって不気味です。

うしろから近づいた十善寺が、そつと鈍をとりあげます。 六平太、そのまま平静です。

クリス 殺してください。祝さん、わたしを殺してください。 ……その鈍ください。わたしを殺してください。

クリス、十善寺に寄ります。

十善寺 あんたは、アメリカ人を三十三人も殺した男に、もう一人殺させたいですか。

十善寺、鈍をなげすてます。

十善寺 八月十五日。きょう。正午。玉音放送。 ……その直後、わしの小隊に緊急命令が出た。福岡市郊外油山の
陸軍刑場に直行せよ。 ……眼かくしされたアメリカ兵が待つとつた。B二九のパイロットが十七名。 ……一回目
は六月の福岡大空襲の翌日。八名。斬首。 ……二回目、八月十日。広島、長崎に対する攻撃の翌日。おなじく八
名。斬首。 ……三回目、終戦の詔勅後二時間。斬首ならびに刺突。 ……返り血で、軍服の上衣がびっしよりぬれ
たよ。蟬が鳴いとつてな。ジワ…ジワ…

クリス ……

十善寺 クリストファ・リビングストン。

クリス ……

十善寺 逮捕状が出るとよ。

蟬の声。あぐりもいます。

十善寺 出入国管理法違反、ならびに強姦傷人だ。 ……どうする。

クリス ……

六平太 ストンさん。

クリス ……

六平太 逃げなはい。とかまることはなか。

十善寺 ……いいだろう。 ……しかし、日本はせまいぞ。

六平太 警察にとかまったら何にもならん。逃げにやいけんですよ、ストンさん。

十善寺 そう、アメリカとちごうて、無罪というわけにはいかんからな。

あぐり なしてわかったとですか、クリスさんのことが。だれが警察にいうたとですか、刑事さん。

十善寺 密告だ。

あぐり え。

十善寺 知りたいか。

あぐり ……

和平、離れようとしています。

和平 つかまるやつはつかまれ。死ぬやつは死ぬ。いくらでも加勢するたい。

十善寺 待て。

和平 ……

クリス いいです。 ……それで、いいです。

クリス、十善寺に手を出します。十善寺、首をふります。

十善寺 だめじゃよ。わしはもう、やめたんじやから。

クリス ……

十善寺 アイ・アム・ノット・ア・ポリスマン……ノー・モア。

クリス ……

十善寺 おい。

和平 ……

十善寺 いま、死ぬやつは死ぬ、というたな。いくらでも加勢する。……ばあさんでもか。

和平 何かい。

十善寺 ABCCで倒れたそうさ。

和平 え。

十善寺 診察中にな。

めぐり ABCC……ばばしやまがですか。……なしてですか。……なして、ばばしやまがですか。

和平 で、どげんした。

十善寺 死んだ。

一同、凝然とします。

十善寺 伝言があつてな。……お前たちの面倒はみきれん。もう、あいた。……これから先は、めんめんがめんめん
んで生きれ。としよりは、もう死ぬ。

沈黙。

十善寺 こたえたらしいな。……それでいい。……ばあさんは死んではおらん。

十善寺、タバコをくわえます。

十善寺 ABCCから電話があつてな。ばあさんが診察中に倒れた。白血病だが、かなりの症状だ。万一の場合の

遺体提供の承諾は得たが、とりあえず原爆病院に送りどけておいた。わしに会いたいという話だから、行ってほしい。そういう連絡だった。……で、病院に行ったら、枕元でさっきの伝言だ。少々おどかしてやらんことは、性根にこたえんはなきればかりだ、そういうて笑うとった。……病気のこと、いままでかくしとったのは、これは嘘も方便というて上人様の教えじゃ、わるく思うな。……ま、それも嘘じゃろうがな。

十善寺、笑います。

と、その時、サイレンです。何かをせきたてるようなひびきです。みんなの視線が、何となく六平太にそがれます。六平太、静かにラジオの前に立ちます。と急に、一種異様な光りがみなぎります。そして、地鳴りのような歌声とともに、墓石のあちこちのかげからかなりな数の人影が現われます。ボロボロの装束をつけた老若の男女です。かれら、ちょうどあの時のように、ラジオをかこんでたらずみみます。サイレン、鳴りおわります。一瞬の静寂。そして、放送がはじまります。——カーンという打球音。ウワーンという歓声。野球場です。アナウンサーの昂奮した早口。本塁打だったようです。打ったのはいま人気絶頂にあるスター選手で、歓声のうちに各塁をまわり、たくさんの握手に迎えられるややくホームベースをふんだと、アナウンサーが知らせます。アナウンサー、かたわらの解説者に聞きます。解説者、答えます。二人のおしゃべりがつづきます。——が、その音、だんだん遠くなってしまう。どこからか、筆の音が聞えます。

筆 どここの世界にも、いま走つとるやつよりおそか機関車ばつころうてするばかはおらんです。……それが人間の世の中です。……ばってん、世の中にはつくつてよか物とわるか物とあります。鍋てろ、釜てろ、ハンドバックてろは、ことわりなしにくらでんつくつてよかです。ばってん、原子爆弾はわけのちがいます。

筆が、墓地のなかの、みんなを見おろす場所に立っています。そして、この時の墓地全体、登場している人物たちの配置ともなつて、序の段での法廷によく似ています。さきにリビングストーンが立たされていた場所に立っているのは、こんどは六平太です。

筆 鍋てろ、釜てろ、ハンドバックてろは、いらん時にはいらんといわれます。ばってん、原子爆弾はいらんちゆう人間にも遠慮なしにあえて来ます。いきなりあえて来る物ですけん、いらんもいるも、返事のひまはなかとです。一人ばねろうたつもりでも、世界中の人間全部ばねろうたことになるんです。……こげんあぶなしか物ばつ

くる時には、世界中の人間一人一人に聞いてまわって、道ばたで遊ぶどる子供一人一人にも聞いてまわって、たずねてみて……一人一人が、ああ、どうぞどうぞ、遠慮せんてつくんなはりまつせちゆうたら、つくつてよかろうて思います。……ばってん、はなたれ小僧の一人でも、いんねちゆうたら、つくつたらでけん物じゃなかでっしょうか。……この年になつて、卒業式の校長先生のごたる話ばするとは、ほんにつらかです。……ばってん、長崎で生まれて、長崎でドンにやられて……まあ、ニセ物のカワラば本物のごとして売りつけたり、いろいろ人様に迷惑もかけてはおりますが、ばってんやっぱ、こげんして長崎で死んでいくとしよりのいうことですけん、どうか勘忍してくださいませ。……わたしにや、六平太ちゆうてよか息子のおります。また、ストーンさんちゆうて、アメリカ人の居候もおります。二人とも、なんちゆうとでしようかね、ちつとばかり足らんところのありまして……ほら、世間で何とかいいいますでしようが……満足じゃなかごどもほど親は……満足じゃなかごどもほど親は……満足じゃなかごどもほど親は……

筆の音がとぎれます。いつのまにか、姿も消えます。

と同時に、チャンコン、チャンコン、ドイー、ドイーのおハヤシがはじまります。歌もです。ポロポロの装束の男女たちは、はなやかな祭り装束の若者たちの姿にかわっています。

ここは長崎北のはて

人里はなれた山の上

山は稲佐に風頭

パツと咲いたる白い雲

……

赤い提灯おかあしやま

黒い提灯おとうしやま

盆がまた来てまた来て

お嫁に行けないこの体

.....

急に歌がやみます。港の汽笛です。進水式の汽笛なのです。若者たちが声をあげます。

若者1 船だ。

若者2 タンカーだ。

若者3 進水式だ。

若者たち、いつせいに声をあげ、精霊船をかつぎあげます。と、新聞記者です。

記者 祝さん……祝さん……祝六平太さんはどこです。……あ、祝さん。たいへんです。

記者、六平太をみつけます。

記者 祝筆さんが……なくなりました。たつたいま、病院で。

六平太 ……

その時です、あぐりがとつぜん口もとをおさえて、走りこもうとします。が、苦しそうにしゃがみこんでしまします。そそがれる視線です。あぐり、ややあつて、そつと袂をはなし、こわごわと見つめます。

和平 子供のでくるとたい……おれの。

波のようなどよめきです。歌がはじまります。元気のよいおハヤシです。和平が、祭り装束の群れに投じます。

天主堂にはマリア様

お寺の本堂にや阿弥陀様

どうぞ助けて下さいな

苦しい時の神だのみ

.....

聖母マリアがいうことにや

浦上じゅうが焼野原

助けてやりたいとこなれど

……らんわたしもこの姿

歌とおハヤシ、だんだんにぎやかになっていきます。

若者たちにかつがれた精霊船が波に大きくゆれます。そして、そのへさきに朱で書かれた家名——祝——という、赤い大きな文字が、空に舞います。